

如何ニ應シテ小哨ト爲シ或ハ下士哨ト爲スヘキモノニ非ス且又其司令ハ必ス下士ト定リタルモノナラス要スルニ此二者ハ固有ノ任務ニ依テ用所ヲ異ニスルモノナリ

○騎兵ヲ宿營區域内ニ入レテ安全ニ宿營セシムル如キ考案ハ其理由ノ在ル所ヲ知ルニ苦ムモノナリ宜シク此際ニハ大ニ騎兵聯隊長ノ力ヲ働カシ搜索及監視ヲ爲ス可キノ時ニシテ又騎兵隊ハ尙一層敵ヲシテ混亂セシメ又敵ノ爾後ノ企圖ヲ察知スルニ努ムヘキナリ此ノ如ク騎兵隊前方ニ在リテ動作シ其掩護ニ依リテ後方ノ各部隊ハ宿營ヲ爲シ得ルナリ故ニ此際騎兵隊ノ一部ヲ以テ警戒ニ任シ其大部ヲ宿營セシムル等ハ適當ナラサルコトヲ了知スヘシ

○前面ニ動作シアル騎兵ノ位置ハ示スコト能ハサルヘシ之レ騎兵ハ本夜ハ終夜行動スルヤモ圖リ難ケレハナリ故ニ前方ニ適宜宿營スルモノトセハ可ナリ

○衛生隊ハ今夜ノ内ニ於テ野戰病院ト交代シ得ルモ暗黒ニ至テ撤收ノ後更ニ前進シテ宿營セシムルハ不可ナリ宜シク其開設地附近ニ宿營セシメ若シ明日使用ノ考ヘアラハ其命令ヲ與ヘ置ケハ機ニ後ル、カ如キハアラサルヘシ又今日ノ戰況上ヨリ考察シテモ容易ニ前進ハ爲シ難カルヘシ

○此ノ問題ノ如キ場合ニシテ露營司令官ノ仕事ヲ要求セサルキハ緊急集合場ヲ特ニ記セスシテ村落露營地域内ニ含ムモノトシテ可ナリ

○警急大集合場ハ聯隊長之ヲ定ムルモ可ナリ然レモ通常師團長カ命スルモノナリ之レ蓋師團長ハ隊ノ使用上其位置セシムヘキ點ヲ知リ置クノ必要アレハナリ

○此際大行李ハ各隊ノ位置ヲ知ル能ハサルヘク師團長サヘモ明瞭ニ悉ク知ル能ハサル所ナルヘシ故ニ若シ今夜ノ給養ニ於テ大行李ノ

糧秣ヲ使用スルモノトセハ隊ニ依テハ或ハ終夜食ヲ得ル能ハサルカ如キコト生スヘク又大行李ノ補充ヲ何時何地ニ於テ行フト示ストモ亦實際施行シ難カルヘシ故ニ此ノ如キ場合ニ於テコソ眞ニ止ムヲ得スシテ携帯糧秣ヲ用フヘキ時期ナリトス又明日ハ前面ニ名古屋ノ大市街ヲ控ヘアルヲ以テ之ヲ使用スルモ其補充ハ敢テ縦列ニ仰クノ必要モアラサルヘシ

携帯糧秣ヲ使用シタルキハ一食分ノミ用ヒ他ハ大行李ノ物ヲ用フルカ如キトハ通常實行シ得ルモノナラス故ニ假令實際ハ食サストモ三食分使用スルモノトシテ考ヲ立ツヘキナリ然レモ明日ハ名古屋ニ入り物資ヲ多ク求メ得ラル、望アルヲ以テ之ヲ得ラル、ニモ拘ラス携帯糧秣ヲ是非三食共必ス食サシムヘシト謂フニハ非サルナリ

第二師團ノ宿營及警戒ニ對スル答解ノ理由

宿營ト警戒トヲ如何ニ定ムヘキカラ決定セシニハ先ツ敵ニ就テ考察ヲ下スヘシ敵ハ潰亂シテ逃走シ今夜ノ中ニ於テ或ル地點ニ集合スルコトハ蓋シ爲シ難カルヘク且又名古屋ハ既ニ我カ有タルニ同シ故ニ敵ニ就テ警戒上ノ顧慮ハ寛ニシテ可ナルノ場合ト謂フヘキナリ然レモ餘リ大膽ナル宿營ヲ爲シ之カ爲ニ死ヲ決シタル敵カ失敗ヲ期シテ夜襲シ來リ損害ヲ被ムルカ如キ不覺ナキヲ要スルヲ以テ之ニ對スルノ顧慮ハ爲サ、ルヘカラス此顧慮ヲ爲シ其許ス範圍内ニ於テ宿營ニ良好ノ景況ヲ與フヘキナリ既ニ今朝來行軍ヲ爲シ其後ニ於テ戰鬥ヲ爲シタルヲ以テ疲勞モ大ナルヘク從テ出來得ル限り良好ノ給養ヲ爲シ体力恢復ニ努メ明日ノ追撃ヲ猛烈ニスヘキナリ然レモ名古屋ニ入ルコトハ避ケサルヘカラス假令時刻少シク早ク戰鬥ノ局ヲ結ヒシトスルモ市内ニ入ルカ如キコトアルヘカラス宜シク近傍ノ村落ヲ利用シテ宿

營スルノ外ナルヘシ現今ノ狀況ニ於テ村落ヲ悉ク利用スレハ舍營ハ爲シ得ルト雖其地域頗ル大トナリ不意ノ事變生セシ時兵力ヲ集結スルコト難ク又既ニ黄昏ナルヲ以テ各隊宿營ヲ求ムルカ爲ニ時間ヲ要シ兵ハ益々疲勞シ與ヘント欲シタル休憩モ返テ與ヘ得ヘカラス至ル故ニ成ルヘク午後六時三十分ノ位置ニ於ケル諸隊カ多ク行進セスシテ宿營ノ出來ル如クスルヲ有利トス又師團長カ一々宿營地ヲ指示スルコトハ此際到底出來得ル所ナラス故ニ師團長ハ此時刻ニハ諸隊カ如何ナル位置ニ在ルカラ考ヘ而シテ後警戒ト給養ノコトヲ考フヘキナリ

此諸隊ノ位置ハ情報ニテ略ホ想像シ得ヘシ即チ此ノ如キ地形ニ於テ山地ヲ平押ニ步兵四箇聯隊混合シテ出ルカ如キコトハアルマシク濶キニ入事ヲ占領シタルヲ第八聯隊ハ新銳ナルヲ以テ敵ヲ追撃シテ本道ニ沿ヒ進ムハ當然ナリ而シテ第五第六聯隊ハ大隊毎ニ集合スルカ或

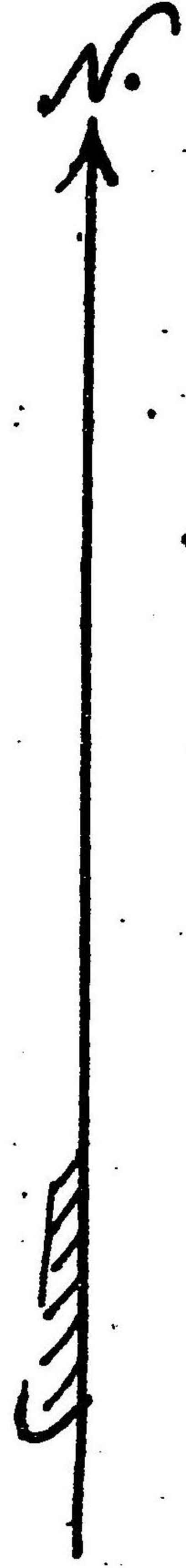
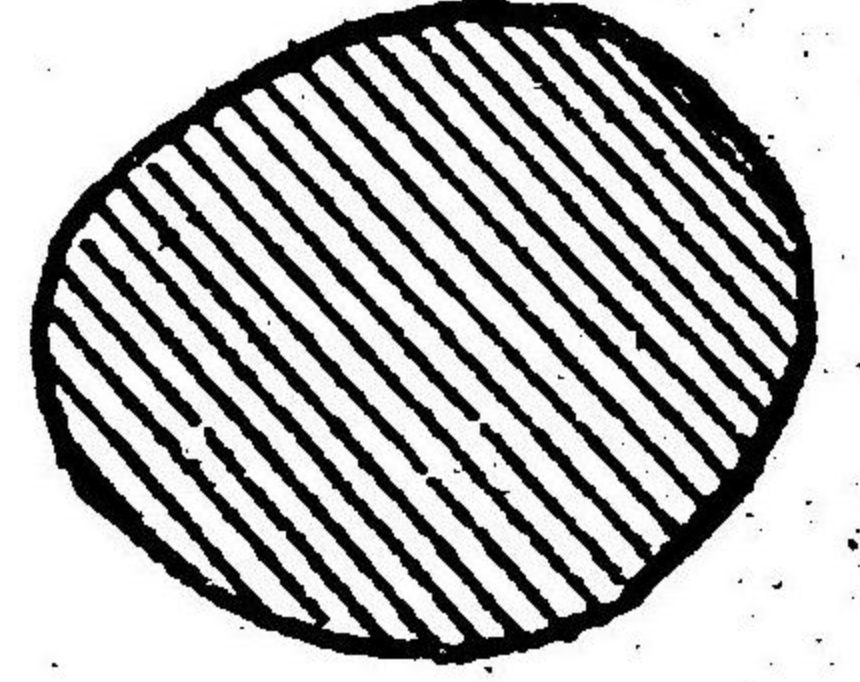
ハ聯隊ニ分レテ第八聯隊ノ後方ヨリ跟随セシナルヘク又第七聯隊ハ
本攻撃ト共ニ攻撃セルナラシ砲兵ハ原附近ニ陣地ヲ占領セシナルヘ
ク而シテ此際射程ヲ伸シテ射撃ヲ行フ能ハサルカ故ニ我隊カ八事
ヲ占領シタルヲ見定メタラハ本道ニ出テ前進スルナルヘシ
此ノ如キ狀況ニテ第八聯隊ハ本道カ丸山カ孰カニ一部ヲ置キ兩方面
ノ警戒ハ自力ニテ任スヘク第七聯隊ハ田代ニ隊頭ヲ出シ月見坂ノ高
地ニハ全力又ハ一部ヲ以テ占領シテ警戒スルナラン第五第六兩聯隊
ハ多少時間ヲ要シ而シテ集結セシカ或ハ集結シツ、アルナルヘク又
砲兵ノ一部ハ既ニ廣路西方ノ高地附近ニ來リシナラン
以上ノ想定ニ依リ宿營地ヲ選フヲ要ス即チ第八聯隊ハ本道及丸山第
七聯隊ハ田代村月見坂ニ宿營シテ共ニ該方面ヲ警戒シ第五第六兩聯
隊ハ此附近ニテ行キ易キ所ヲ指定シテ行カシムルヲ得ヘシ之カ爲
ニハ廣路ト石佛藤成十五軒屋トセハ道路モ通シ且夜暗ト雖見出スニ

第二師宿營及警戒之圖

作戰四月十八日



鍋屋上野



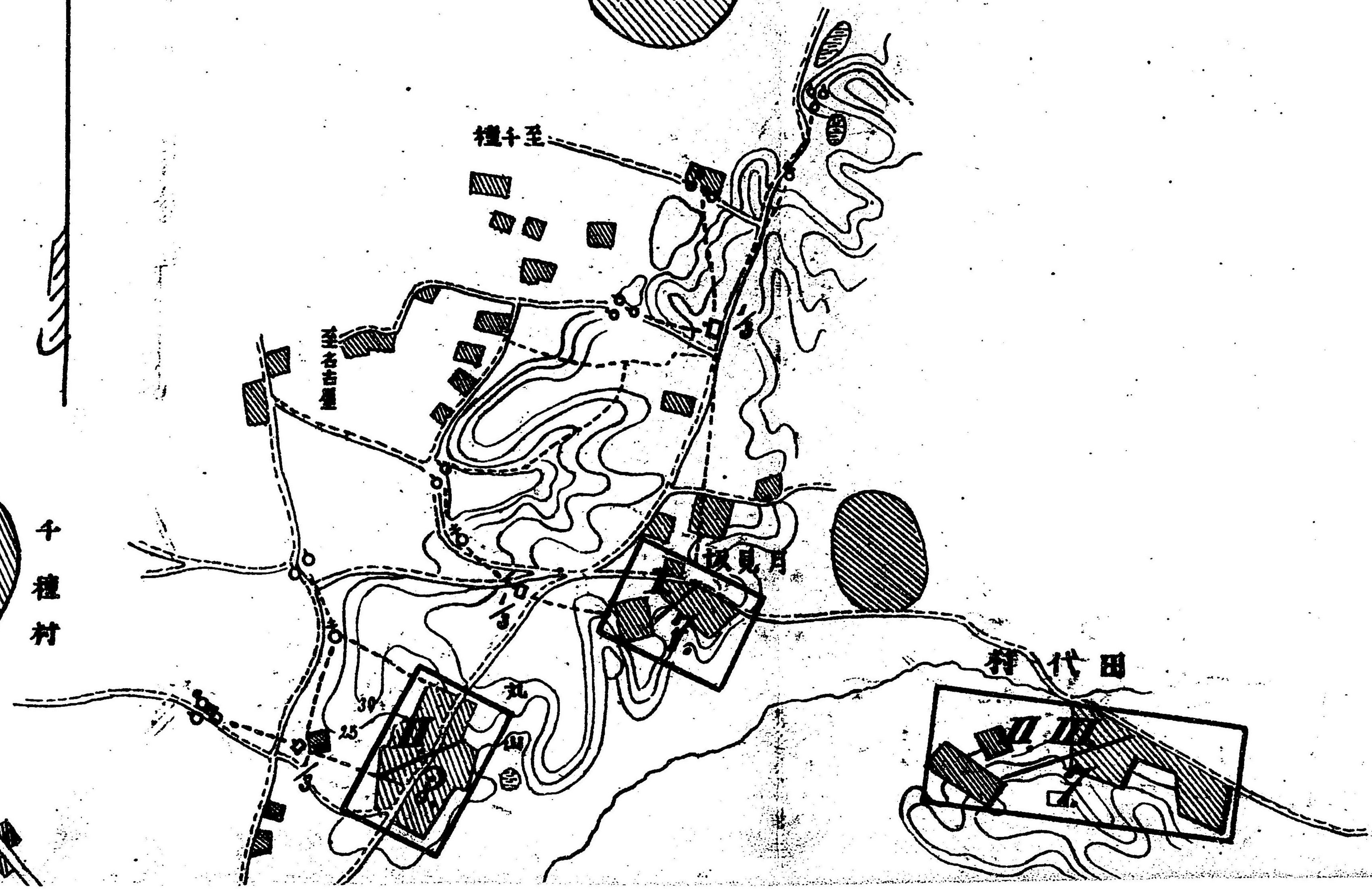
至十種

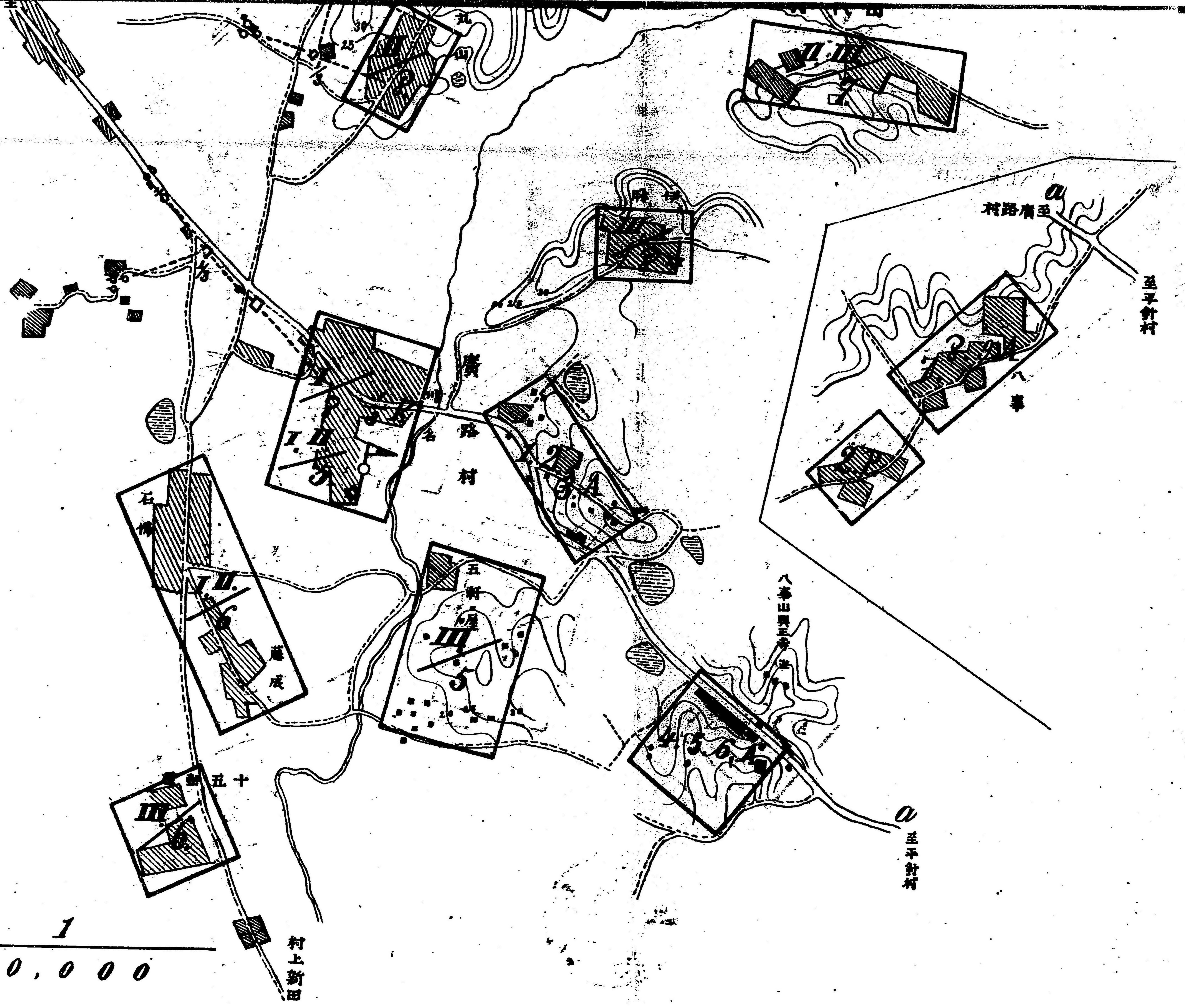
至名古屋

十種村

至名古屋

田代村





易カルヘシ砲兵ハ成ルヘク本道ノ附近ニ宿營セシムルヲ宜トス本道
ハ人家少キモ道ノ左右ニハ畑アリ森林アルヲ以テ砲廠ヲ設ケ又ハ馬
繋場ト爲スニ便ニシテ暗黒トナリテモ運動ニ不便ヲ感スルト少カル
ヘシ又明朝直ニ戦闘ノ起ル公算少ク又民家少キヲ以テ砲兵ノ一部ハ
八事附近ニ宿營セシメテモ差支ナシ
右ノ如クシテ宿營セシムレハ速ニ宿營セシムルヲ得ヘク而シテ村落
露營ト爲サハ究屈ニモアラス且自ツカラカヲ集結シ置クヲ得ヘシ右
ノ諸隊ノ外衛生隊ハ開設地ニ大行李ハ現在地ニ依然位置セシム是等
ノモノニハ明日ノ事ニ關シテ命令ヲ下サント欲セハ明朝早ク命令シ
テ動作セシムルカ返テ便ナルヘシ(輜重ニ關スル事ハ省略ス)
右ノ理由ニ依リ配備第三圖ノ如シ

想定第三所用地圖二万分一舉母上野村岡崎平針知立箕輪

東軍ノ主力ハ名古屋ヲ占領セル敵ニ對シ中仙道ヲ前進ス
敵ノ側背ニ衝突スヘキ目的ヲ以テ東海道ヲ前進セル東軍第三師團ハ
五月八日夕岡崎附近ニ達シ該地附近ニ宿營スルニ決セリ
此日ニ於ケル該師團ノ軍隊區分左ノ如シ

獨立騎兵

騎兵第三聯隊(一小隊欠)

前衛

司令官少將某(步兵第五旅團長)

步兵第六聯隊

騎兵第三中隊ノ一小隊(一分隊欠)

砲兵第一大隊

工兵第一中隊

衛生隊二分一

本隊

師團ノ殘餘

狀況 獨立騎兵隊長ハ名古屋東北方ノ敵情ヲ搜索スヘキ任務ヲ以テ
約一小隊ヨリ成ル將校斥候ヲ東海道上ニ出シ他ノ主力ヲ以テ平針街
道ヲ前進シ明知下屋敷附近ニ於テ我ヨリ劣勢ナル敵ノ騎兵ヲ擊攘シ
午后四時頃福田ニ達ス此時敵ノ步兵若干春木村及傍示本附近ニ達セ
ルヲ知リテ同地東方ニ隱蔽シテ停止ス
同時師團長ヨリ左ノ訓令ヲ受ク

一師團ハ本夜岡崎附近ニ宿營セントス

二貴官ハ夜ニ至レハ適宜前方ニ宿營シテ其任務ヲ續行スヘシ

三師團ハ明日平針街道ヲ前進スヘキ豫定ナリ

次ニ前方ニ出セル斥候ヨリ左ノ情報ヲ受ク

土民ノ言ニ依ルニ諸兵連合ノ敵今午后名古屋東方ニ集合シ平針街道ヲ前進セントスルモノ、如シ

東海道上ニハ未タ敵兵ヲ見ス

師團ハ午后四時前衛ノ先頭ヲ以テ矢作村ニ達ス此時師團長ハ我カ獨立騎兵ノ敵ノ騎兵ト衝突セルヲ及東海道上ニハ未タ敵兵ヲ見サルヲ知リ又明日ハ平針街道ヲ前進スルノ企圖ヲ有ス

問 師團概略ノ宿營法ハ如何

答 師團ハ前衛ノ本隊ヲシテ宇頭附近ニ宿營セシメ以テ東海道及平針街道ヲ警戒セシム步兵第十八聯隊及騎兵二分隊ハ岩津村附近ニ位置シ其一部隊ヲシテ畝部村ヲ警戒セシメ殘餘ハ矢作村ト岡崎町ニ宿營セントス

注意 此際前衛ニ何ヨリ何ニ亘ル線ヲ警戒スヘシト其線ヲ指示ス

ルハ此ノ如キ大前衛ニ對シテハ究屈ナリ又敵ト甚シク接近シアラ、サルヲ以テ格段ニ警戒線ヲ示サ、ルヲ宜シトス即チ前衛ハ其本隊ヲ以テ宇頭村附近ニ位置シ主トシテ平針街道ヲ警戒スヘシト命スレハ可ナリ又敵襲ニ方リテハ何々ヲ固守セヨト命スルヨリモ本隊カ矢作川右岸ニ集合スルヲ掩護スヘシト命スルヲ宜シトス

問題

第一 此日ニ於ケル獨立騎兵ノ宿營及警戒法

第二 本夜ノ爲メノ前衛命令及前衛ニ屬スル前哨部隊ノ前哨命令

第一 獨立騎兵ノ宿營並ニ警戒法ノ講評

自己ノ警戒ニ重キヲ置キタルモノハ任務ヲ果スニ粗ニシテ又任務ニ重キヲ置キタルモノハ自己ノ警戒法薄弱ナリ

自己警戒ノ爲ニハ本道ヲ遠ク離ルルハ可ナリト雖此時機ニ於テハ未タ早シ且又少數ノ敵カ來ルルハ道路ヲ開放セルヲ以テ後方ニ對シテ警戒充分ナラス又搜索ノ中心ト爲リテ斥候等ヲ派遣スルニ難ク尙又報告等ノ到達容易ナラス加之後方ノ部隊ト命令報告ノ傳達モ困難ナリ故ニ首道路ニ在テ搜索モ警戒モ共ニ爲シ能ハサル時ニ非ラサレハ首路ヲ離ルルハカラス此他歩兵前哨ニ接近シ敵トノ中間ニ介立シ是カ爲メ何事モ爲シ能ハサルル等ニ在リテハ首路ヲ離レテ側方ヨリ搜索スルヲ有利トス

平針街道ノ北側方ニ主力ヲ置カントスルハ中仙道方面ノ隊トノ連絡ノ爲メナランモ此間ハ山地ニシテ騎兵ノ集團ノ運動ハ困難ナリ且我任務ハ敵ノ側背ニ衝突スルニアルヲ以テ北ニ轉位スルハ不同意ナリ若シ側方ニ置クヲ要スルナラハ東海道方面ニハ未タ敵兵ヲ見サルヲ以テ此方面ニ轉位セハ任務ヲ果ス上ニ就テモ易ク且又集團シテ運動スルヲモ許スナリ

小哨及獨立下士哨ノ位置ハ一時抵抗ヲ爲シ得ル地點ヲ選フヲ要ス騎哨ノ位置ニ在テハ抵抗シ得ル點アリト雖其効ナシ故ニ道路上ニシテ小哨等ヨリ遠クニ出シ敵カ此間ノ距離ヲ經過シ來ル時間ニ依テ小哨等ハ抵抗ノ準備ヲ爲スモノナリ

控兵ノ位置トシテ本道上ニ位置スルハ危險多シ故ニ運動ノ輕捷ヲ利用シ本道ヨリ少シク離レテ自衛ノ出來ル所ヲ選フヘシ堤上町ノ如キハ部落續キニシテ集合其他自己ノ動作及自衛ノ爲ニ困難ナリ敵狀ヲ偵察スルハ其正面ノミニ止ラヌ内部及其後方ノ敵狀ヲモ併セ知ルノ手段ヲ繞スヲ緊要トス

堤新馬場ハ自衛ノ爲ニハ翼ヲ池ニ托シ得テ抵抗ニ便ナルモ本道ノ傍ナルヲ以テ他ニ良好ノ位地無キハ止ムヲ得スシテ之ヲ取ルモ可ナリ然レ尙研究セハ他ニ良好ノ所アリ

騎兵ハ自衛力ニ乏シキモノナルカ故ニ第一ノ警戒法ハ搜索ナリ第二ハ前方ノ部隊ナリ之ニ次テハ敵ノ來リシハ騷擾セシメラレサル地點ヲ選フヘシ

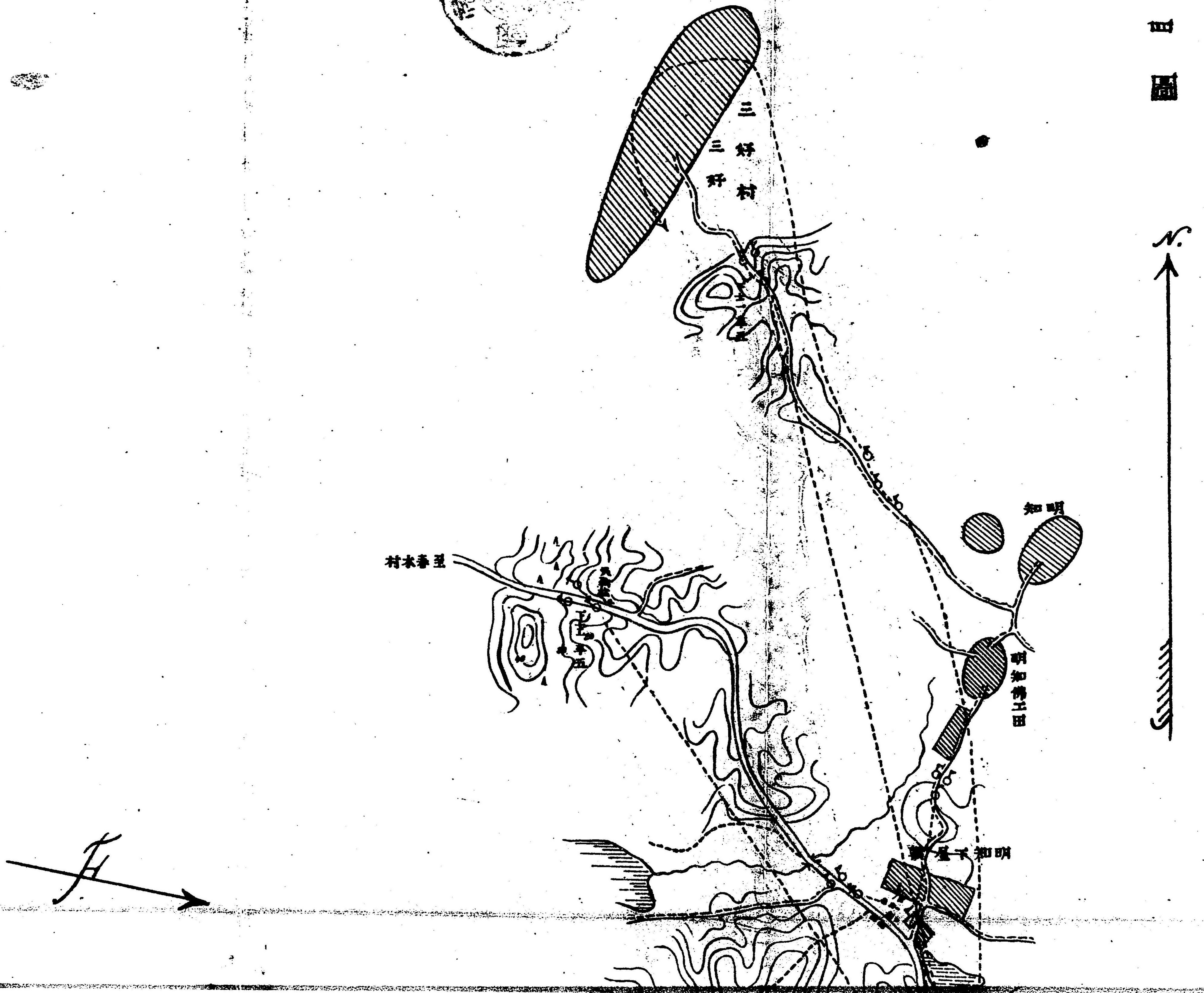
自己安寧ノ爲ニハ敵ニ遠ク本道ヲ離レテ位置セハ可ナリ然レモ此騎兵ノ任務ハ今後尙續テ搜索スベキモノニシテ後方ニ退リテ宿營スルモノニ非ス故ニ此二者ヲ考ヘ安寧ヲ保テ搜索シ得ル方法ヲ取ルヘキモノトス之カ爲メ明知附近ニ位置セントセハ舍營ハ許サス露營スルノ外ナカルヘシ且敵ニ近キ程兩側危險又動作モ困難ナリ今明知ヨリ後方ニ下ル下シテモ前方ノ搜索ハ爲シ難キ所ニアラス加之自己ノ警戒ニモ都合宜シ然レモ後退ニ過キ堤村ノ川孟ヨリ退レハ安寧ノ爲ニハ良キモ敵トノ接觸ヲ保持スルハ難シ

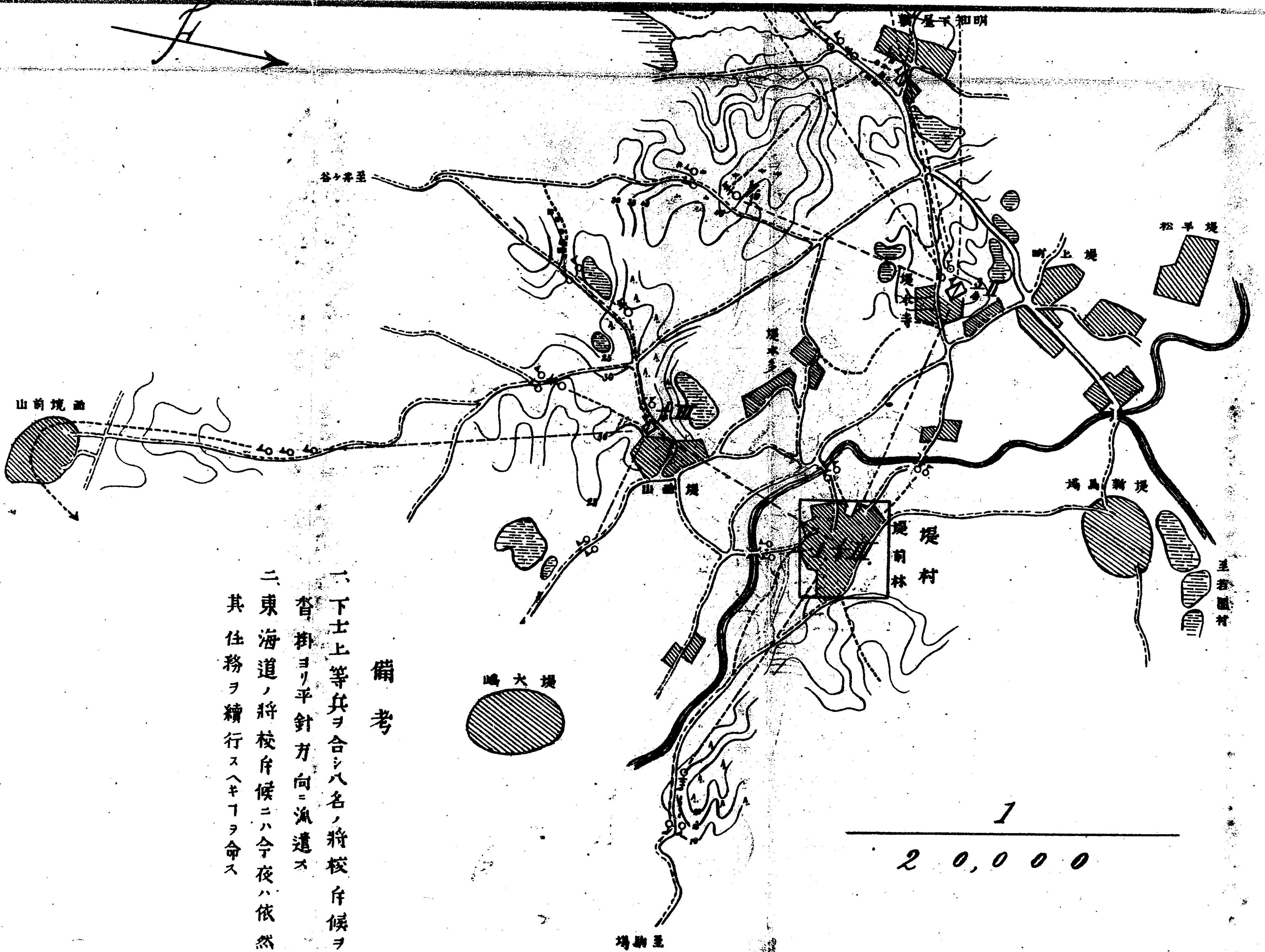
自己ノ警戒ト搜索トヲ同時ニ保テ行ハシトモ正面過大トナリ返テ警戒搜索共ニ全カラズ宜シク之ハ別ツヘキナリ即チ警戒ノ爲ニ

獨立騎兵隊宿營及警戒之圖

作戰五月八日之夜於レ

第四圖





一、下士上等兵ヲ合シ八名ノ將校自候ヲ
 沓掛ヨリ平針方向ニ派遣ス
 二、東海道ノ將校自候ニハ今夜ハ依然
 其任務ヲ續行スヘキヲ命ス

備考

1
 20,000

ハ兵カラ節用シ一點ニ於テ抵抗力ヲ大トスヘク搜索ノ爲ニハ斥候
ニ依ルヘキナリ
駐止斥候ハ動作ニ制限無シ敵來ラハ報告ヲ爲シ自己ハ一時他ニ轉
位スルヲ得ルナリ故ニ搜索ヨリ寧ロ警戒ニ屬ス
獨立騎兵ノ宿營並ニ警戒法ハ第四圖ノ如シ

第三 前衛命令及前哨諸部隊命令ノ講評

此際獨立騎兵ノ前方ニ在リテ敵ニ接觸シアルヲ示スハ必要ナリ
東海道上ニ出ス中隊ハ第何大隊ノ一中隊ト示スヨリモ其中隊號ヲ
示スヲ宜シトス然ルルハ全般ノモノハ第何中隊カ孰レニ在ルト云
フヲ知リ又此ノ如クスレハ中隊長ハ前衛司令官ニ直屬スルヲ以
テ司令官モ中隊長其人ヲ知ル等ノ利アリ又此中隊ニ示スニ單ニ東
海道ヲ警戒スヘント云フノミニテハ中隊長ハ一般ノ情況ヲ細密ニ

知ラヌ又命令迄ハ之ヲ知ルノ必要アラザリシナリ故ニ命令スルニ
方リテハ警戒面ノ區域ヲ示シ他ノ前哨部隊トノ關係ヲ明カナラシ
ムルヲ必要トス

東海道上ノ前哨中隊ハ任地ニ赴ク前既ニ部下ニ敵狀ト我任務及行
進法ヲ下命シアルヘキヲ以テ任地ニ達スレハ現地ヲ指示シテ前哨
ノ命令ヲ下シハ可ナリ

前衛司令官ハ矢作村以東ニ在テ師團長ヨリ命令ヲ受領ストスルモ
同官カ更ニ命令ヲ下スハ宇頭ノ高地ニ至テ下スヲ至當トス
任務ヲ課スル止ニ就テハ例ヘハ基少佐ハ何々隊ヲ以テ前哨ニ任ス
カ云フコトハ示スノ必要アリ

命令ノ第二項ニ於テ一般ノ目的即チ平針街道方面ノ前哨トナルト
云フコトヲ示スハ決シテ贅ナラス前衛命令ニテ前兵ハ前哨ニ任スト
云フコトヲ其隊號ヲ示シテ第一大隊ハ前哨ニ任スト云フコトヲ可トス

是レ此時既ニ前兵ノ任務カ消滅シ固有ノ隊ニ復歸セシヲ以テナリ
若シ然ラスシテ前兵ハ前哨ニ任スト示スハ前兵ニ屬シアリシ工
兵ノコトモ命令スルノ必要ヲ生ヌヘシ

敵狀及友軍ノ狀態等ハ第一項中假令長文トナリテモ此項ニ收メ而
シテ第二項ニハ我目的ノミヲ示スヲ宜シトス

前哨カ數個ニ分カル、片ハ名稱ヲ附シテ右前哨左前哨又ハ何街道
前哨等ト稱スルヲ可トス

歩哨線ヲ抵抗線ト爲スハ最モ不可ナル所タリ歩哨線ハ監視ノ線ニ
シテ抵抗ノ線ナラス故ニ若シ此線ニ於テ抵抗シ得ラル、ナラハ抵
抗ヲ爲スニ足ル隊ヲ以テ占領スルヲ宜シトス例ヘハ習志野附近ノ
狹隘ノ如キハ友岸ニ歩哨ヲ配置セハ一條ノ道路ヲ監視スルノミヲ

以テ足ルカ如キモ此ノ如キ所ニハ小哨以上ノ有力ナル隊ヲ位置セ
シメテ抵抗ノ線トシ歩哨ハ其前方ニ進ムルヲ可トス

前哨ニテ最モ良好ナル抵抗線ハ前哨中隊ノ位置附近ニ設クルヲ宜シトス
前哨抵抗線ノ概此附近ナレハ正面モ擴張セス且ツ前方ノ諸隊ヲ收容スルニモ便利ナリ面シテ又前哨本隊ハ之カ豫備隊ノ有様トナル抵抗線若シ前哨中隊ト前哨本隊ノ中間ニ在レハ前哨中隊ハ退却シテ此線ニ據ラサルヘカラス故ニ中隊長ハ己レノ意圖ノ如ク動作スル能ハサルノミナラス前哨ノ退却ハ好ムヘキニ非サルナリ抵抗線若シ小哨ノ線ニ在ランカ正面ハ稍擴張スルノミニシテ全ク用ヒ得ラレサルニ非スト雖モ前哨中隊ノ位置ニ接近スル程可ナルモノトス此故ニ抵抗線ハ前哨中隊ノ稍前前方ニ在ルヲ有利トスルナリ

右ノ要旨ニ依リ目下ノ狀況上抵抗線ハ和會村地ト書シアル
形
 ノ森林ノ北端ヨリ平針街道上明治用水ノ交叉點ニ至リ更ニ南方ニ明治用水ニ沿ヒ東海道方面ニ於テハ大濱茶屋ノ西端ノ無名祠ノ森

林ノ線ヲ抵抗線ト爲スヲ可トス
 前哨本隊ハ何地ニ宿營シ云々或ハ露營シ云々ト謂フカ如キハ示スヘキモノニ非ス要務令ノ謂フ宿營ノトトハ戰備ノ度ニ關スル宿營ノトナリ宜シク警戒ト休養トヲ混スルト莫ランヲ要ス故ニ前哨本隊ニ命スルニハ何地ニ位置シ云々トスルヲ宜シトス然ルルハ前哨司令官ハ要務令ノ示ス所ニ從テ警戒戰備ノ度即チ諸隊ヲシテ家屋下ニ入ラシムルヤ又ハ燎火ヲ用ヒシムルヤ炊爨ハ何所附近ニ於テハ爲ス可ラスト云フト等ヲ規定スルナリ

特ニ何地ヲ搜索云々ノトハ普通ノ搜索ヨリ尙一層搜索ヲ密ニスルル即チ特ニ念ヲ入ル、所等アル場合ニ用フル語ニシテ搜索ヲ平等ニスルルハ示スニ及ハサルト勿論ナリ

宿營ニ關スル前(後)衛命令ニ記載スヘキ要件
宿營命令ニ記載スヘキ要件ヲ參看スヘシ

宿營ニ關スル前後衛命令ハ高級指揮官ヨリ下ラセラル宿營命令ニ基
キテ前後司令官カ其部下ニ下ス所ノモノニシテ普通此命令ニ記スヘ
キ要件概ネ左ノ如シ

一 敵狀

警戒ニ關シ部下ノ知ルヲ要スルコトノミ

本隊宿營地ノ大要

其他一般ニ通知ヲ要スヘキ我軍ノ狀況

二 前後衛目的ノ大要

三 前哨ニ任スル部隊ニ關スル

前哨部隊ノ指定警戒線ノ大要前哨本隊ヲ置クヘキ概略ノ位置連

絡點特ニ警戒或ハ搜索又ハ占領スヘキ地點其他要スレハ前哨騎

兵ニ關スル

右ノ諸件ハ各部隊毎ニ項ヲ分テ記載スヘシ

四 敵襲ニ方リ取ルヘキ處置

前第三項中ニ記スルコトアリ

五 前後衛本隊ノ宿營地及其宿營法

合露營地同上司令官ノ任命要スレハ緊急大集合場ノ指示特ニ派

遣スヘキ部隊及其搜索警戒區域

六 給養

宿營命令記載ノ要件中給養ノ項ヲ參看スヘシ

七 前後衛司令官ノ所在及翌日ニ係ル命令受領者參集時刻

注意 前想定ノ部ニ於テ詳述スル如ク宿營ニ方リテ前後衛司令官ハ
通常先ツ高級指揮官ヨリ警戒ニ關スル大要及必須ノ事項ノミノ指示
ヲ受クルモノナルヲ以テ此指示ニ依リ先ツ前哨ニ關スル大要ヲ前哨
司令官ニ指示シ速ニ前哨配布ヲ爲シ得ル如クシ然ル後高級指揮官ヨ
リ完全ナル宿營命令ヲ下ルヲ待テ完全ノ前衛命令ヲ下スモノトス

前哨命令ニ示スルニ要件

前哨命令トハ前哨司令官カ前後衛司令官(小ナル隊ニテ前後衛ノ全部ヲ前哨ト爲シ場合ニ在リテハ高級指揮官)ヨリ受ケタル任務ニ依テ警戒部署ヲ定ムル爲メ部下ニ命スル所ノモノニシテ多クハ現地ニ於テ口達スルヲ常トス其要件概テ左ノ如シ

一、二、ハ前記ノ命令要件ヲ參看スヘシ

三、前哨騎兵ニ關スル(混成前哨ノ場合)

警戒線ノ大要及位置スヘキ概略ノ地點警戒ヲ嚴ニスヘキ道路、晚ニ至リ前哨本隊ニ退クヘキ騎兵ニ就テノ規定或ハ夜間ニ於ケル騎兵ノ任務等

四、前哨中隊(獨立ノ小哨又ハ下士哨等)ニ關スル

中隊ノ指定及其位置スヘキ地點警戒スヘキ地ノ區域、比隣哨所トノ連絡地、特ニ占領或ハ警戒搜索スヘキ地點、傳令騎兵ノ配屬要ス

レハ別項スルモ可ナリ、敵襲ニ方リ執ルヘキ處置

右ノ諸件ハ各隊毎ニ項ヲ分テ記載スヘシ

五、前哨本隊ニ關スル

位置スヘキ地點、特ニ前哨本隊ヨリ出スヘキ警戒隊(小哨、獨立下士哨等)ノ指定、特ニ閉塞或ハ開達スヘキ道路、狹隘等戰備緩嚴ノ度

六、前哨司令官ノ所在地及要スレハ報告ヲ送ルヘキ地點

前哨中隊長ハ亦前哨命令ニ基キ所要ノ命令ヲ口達シ部署ヲ定ム其命令ノ要件ハ概テ右ニ準スルモノトス

前衛命令 五月八日午後五時三十分
宇頭西端ニ於テ

一、本日午後我獨立騎兵ハ平針街道上明知下屋敷附近ニ於テ敵ノ騎兵

ニ衝突シ之ヲ擊攘セリ

東海道上ニハ未タ敵兵ヲ見ス

師團本隊ハ本夜岡崎町附近ニ宿營ス

步兵第十八聯隊ハ岩津村附近ニ宿營シ一部隊ヲ畝部村ニ出シテ警戒セリ

獨立騎兵ハ尙前方ニ在リテ敵ト接觸ヲ維持セル筈ナリ

二、前衛ハ宇頭及其附近ニ宿營セントス

三、步兵第一大隊及騎兵一小隊(二分隊欠)ハ右前哨ニ任ス其本隊ヲ以テ福受新郷下側附近ニ位置シ榊塚村ヨリ大濱茶屋北方約七百米ノ地ニ灣入セル凹地ニ亘ル間ヲ警戒シテ特ニ若園村方向ヲ搜索スヘシ敵襲ニ方リテハ福受新郷下側東北方ノ森林縁ヨリ明治用水ニ亘ル線ヲ固止スヘシ

四、步兵第五中隊及騎兵一分隊ハ左前哨ニ任ス其前哨中隊ヲ以テ大濱茶屋附近ニ位置シ右前哨ノ左翼ヨリ横根畑ニ至ル間ヲ警戒シ特ニ知立町方向ヲ搜索シ且右前哨ト連絡スヘシ

敵襲ニ方リテハ大濱茶屋西端ヨリ南北ニ亘ル線ヲ固守スヘシ

五、他ノ諸隊ハ左ノ如ク舍營スヘシ

旅團司令部

步兵第三聯隊本部及第三大隊

騎兵第一大隊

砲兵第一大隊

工兵第一中隊

衛生隊二分一

暮戸

柿崎及宇頭

大佐某(步兵第六聯隊長)ハ舍營司令官タルヘシ

步兵第二大隊第五中隊欠

尾崎

警急大集合場ハ尾崎東方畑地トス

六、諸隊ハ大行李ノ糧秣ヲ使用スヘシ其補充ニ關シテハ後刻命令ス
七、予ハ宇頭ニ在リ午後十時命令受領者ヲ出セ

前衛司令官少將某

傳達法

各隊ノ命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム但シ前衛騎兵長前兵大隊長
 ニハ本隊ニ停止ヲ命スルト同時ニ命令ノ要旨ノミヲ先ツ通知ス
 歩兵第十八聯隊ニ送ル騎兵二分隊ハ特別命令ヲ以テ騎兵隊長ニ命ス

右前哨命令 五月八日午後五時四十分
 柿崎北方森林ニ於テ

一、本日午後我獨立騎兵ハ平針街道上明知下屋敷附近ニ於テ敵ノ騎兵
 ニ衝突シ之ヲ擊攘セリ
 東海道上ニハ未タ敵兵ヲ見ス
 本夜師團本隊ハ岡崎附近前衛本隊ハ宇頭附近ニ宿營ス
 歩兵第十八聯隊ノ一部ハ畝部村附近ニ在テ警戒ス
 獨立騎兵ハ尙前方ニ在リテ敵ト接觸ヲ維持セル筈ナリ

第五中隊ハ左前哨トナリ大瀧茶屋附近ニ在テ重ニ東海道ヲ警戒ス
 二、當大隊及騎兵二分隊ハ右前哨トナル
 騎兵一分隊ハ若林附近ニ在テ重ニ平針街道ヲ監視シ日没ニ至レハ
 前哨本隊ニ歸還ス

三、第二中隊ハ前哨中隊トナリ平針街道ト明治用水トノ交叉點附近ニ
 位置シ廣畔新郷ヨリ里三郎ノ西南約六百米ナル小松林ニ至ルノ線
 ヲ警戒シ特ニ若林方向ヲ搜索シ且左前哨ト連絡スヘシ
 敵襲ニ方リテハ中隊ノ位置ニ在テ抵抗スヘシ
 騎兵二分隊ヲ附ス

四、第三中隊ノ一小隊ハ福受新郷ニ位置シテ獨立ノ小哨トナリ和會村
 土野村ニ通スル道路ヲ監視シ前哨第二中隊及前哨本隊ヨリ増塚村
 ニ出セル獨立下士哨ト連絡スヘシ
 敵襲ニ方リテハ逐次抵抗シツ、福受新郷東北約八百米ノ森林線ニ

退却スヘシ

騎兵三騎ヲ附ス

五他ノ諸隊ハ前哨本隊トナリ福受新郷下側西方森林内ニ位置スヘシ

第三中隊ヨリ一分隊ノ獨立下士哨ヲ増塚村ノ北端ニ出シ福受新郷

ニ在ル獨立小哨ト畝部村ニ在ル第十八聯隊ノ警戒部隊トノ間ニ於

ケル連絡ヲ保持セシムヘシ

六予ハ前哨本隊ノ位置ニ在リ

右前哨司令官少佐某

傳達法

各中隊長ヲ集メ日達筆記セシム

同右前哨命令

五月八日午後五時四十分
柿崎北方森林ニ於テ

(騎兵小隊長へ)

前哨本隊ハ福受新郷下側西方森林ニ位置シ福受新郷ヨリ里三郎ニ互

ル線ヲ警戒ス

貴官ハ其屬スル一分隊ト共ニ若林附近ニ在リテ専ラ平針街道ヲ監視

シ且獨立騎兵トノ連絡ヲ保持セヨ

日没ニ至レハ前哨本隊ノ位置ニ復歸スヘシ

右前哨司令官少佐某

右ノ命令ハ筆記シテ傳騎ヲシテ齎サシム

左前哨ト爲ルヘキ中隊長ハ命令ヲ受ケタル其場所ニ於テ中隊ニ敵狀

及我任務並ニ右前哨アルヲ中隊ニ示シ而シテ一部ヲ以テ前衛ト爲

シ大濱茶屋西端ニ赴キ此地ニ於テ地點ヲ指示シツ、中隊ニ次ノ命令

ヲ下ス此際前方ニハ斥候アリテ監視シアルヲ勿論ナリ

前哨第五中隊命令

五月八日午後五時十分
大濱茶屋西端ニ在テ

一第二小隊ノ一分隊ハ其軍曹之ヲ指揮シ第一獨立下士哨ト爲リ此地

點ノ西北方約七百米ニ在ル長方形ノ森林ニ位置シ同地ヨリ通スル
道路ヲ警戒シ且該森林ノ北方凹地附近ニ在ル右前哨ノ左翼ト東海
道上ニ在ル第二小哨トノ連絡ヲ維持セヨ

敵襲ヲ受クル時ハ逐次抵抗シツ、此地方無名洞ノ森林若ハ東北ノ
林縁ニ退却シ中隊ノ赴援ヲ待ツヘシ

二第一小隊(二分隊欠)ハ第二小哨ト爲リ前方ニ在ル小松林ノ西端附近
ニ位置シ東海道及里村ニ通スル道路ヲ警戒シ且時々斥候ヲ里村及
今村ニ派遣セヨ

敵襲ニ險シテハ抵抗シツ、此地點(大濱茶屋西端)ニ退却セヨ
三、第三小隊ノ二分隊ハ某軍曹之ヲ指揮シテ第三獨立下士哨トナリ横
根畑ニ位置シ今村及西方ニ通スル道路ヲ警戒シ第二小哨ト連絡シ

且時々斥候ヲ横根畑西方ノ森林ニ出シ特ニ左側方ノ警戒ニ任セヨ
敵襲ニ際シテハ逐次抵抗シツ、此地南方ノ小森林縁ニ退却セヨ

四、他ヲ兼テハ前哨中隊トナリ大濱茶屋南側明給用水ノ西岸ナル森林
ニ位置スルシ

傳達法

右ノ命令ハ中隊長地點ヲ指示シツ、口達ス

狀況 五月九日第三師團ハ左ノ如ク前進ス

前衛(昨日ノ如シ)ヲ以テ平針街道上ヲ右側支隊歩兵第十八聯隊ト騎兵
二分隊ヲ以テ壽惠野村、逢妻村及三好村ヲ經テ香久山村ニ通スル道路
ヲ又歩兵第三十三聯隊ノ第三大隊ヨリ一中隊ヲ東海道上ニ派遣シ此
方面ニ於ケル騎兵ノ支援ヲラシメ併セテ該道上ノ警戒ニ任ス本隊タ
ル諸隊ハ前衛ニ續行ス

前衛ハ和會村ノ西方ヨリ第五中隊ヲ以テ左側衛トシ北中根及堤前林
ヲ經テ井ヶ谷ニ向テ前進セシム

午前八時前衛ハ其歩兵ノ先頭ヲ以テ堤新馬場ノ東方ニ達ス此時敵ノ歩兵カ前方河岸ヲ占領シアルヲ知リテ停止ス是ヨリ先キ前衛司令官ハ左ノ諸情報ニ接セリ

一昨夜春木村及傍示本附近ニ在リシ敵ノ兵力ハ歩兵約一大隊許ニシテ今朝其主力ヲ以テ平針街道ヲ一部ヲ以テ明越村ニ向ヒ前進セリ

二敵ノ後續隊ハ昨夜平針以西ニ宿營シ今朝東進セントスルモノ、如シ其兵力未タ詳ナラス

三我獨立騎兵ハ一部ヲ以テ萌生村方面ニ主力ヲ以テ境村方面ニ在

問 午前八時ニ於ケル前衛司令官ノ決心及處置

答 攻撃ニ決心シ砲兵ヲ小松林ノ高地ニ歩兵第一大隊ハ堤新馬場ノ

北側ニ展開シ同第二第三大隊ハ堤新馬場ノ南方ニ開進シ次テ第二大隊ヲ第一大隊ノ左翼ニ延伸増加ヲ爲シ第三大隊ハ之ニ續行シテ本道ヲ突貫ス

左側衛ハ本隊ノ運動ニ伴ヒ堤本多ノ占領ヲ努メシム、理由此場合ニハ勉メテ速ニ處置スルヲ宜シトス又兵ヲ少許宛漸次用フルカ如キハ緩慢ナルノミナラス効果モ亦少シ宜シク鶏卵ヲ壓スルニ岩石ヲ以テスルノ原則ヲ實行スヘキナリ今歩兵三大隊及砲兵ヲ以テスレハ前面ノ敵ハ瞬間ニ擊破スルヲ得大ナル兵力ヲ以テスレハ結果モ亦大ニシテ時間モ僅少ナルヘシ假令此際敵ノ後續部隊來援スルヲアルモ右ノ如ク準備シテ攻撃ニ着手セハ毫モ支障ナカルヘシ

前項ノ要旨ニ依リ此場合前林ヨリ敵ノ右側ニ逼迫スル如キ動作ハ巧妙ニ過キ返テ適當ナラス

想定地圖 所用地圖二十万分一 名古屋、豐橋、上野村、平針、知立、箕輪、刈谷、大高、名古屋附近ニ進出スル目的ヲ有スル東軍ハ中仙道及飯田街道ヲ前進ス

飯田街道ヲ前進セル第一師團ハ五月十七日足助附近ヲ發シ兩縱隊トナリ飯田舉母兩街道ヲ平針ニ向ヒ前進ス

舉母街道ヲ前進セル左縱隊ノ兵力及軍隊區分左ノ如シ

縱隊長少將某(步兵第一旅團長)

獨立騎兵

騎兵第一聯隊(第三中隊欠)

前衛

步兵第一聯隊第一大隊

騎兵第二中隊ノ一小隊

本隊

步兵第一聯隊(第一大隊欠)

同第十五聯隊第一大隊

騎兵第二中隊ノ一分隊

野砲第一大隊

工兵第一中隊

衛生隊二分一

午前十時左縱隊ハ其前衛ノ先頭ヲ以テ舉母ニ達ス此時該縱隊ハ左ノ諸情報ニ接セリ

一 稍強大ナル混成一旅團ノ兵力ヲ有スル敵兵ハ今朝名古屋東方ヨリ平針ニ向ヒ前進ス

二 午前八時以後彼我ノ騎兵斥候ハ諸輪傍示本ノ線ニ衝突ス

該地附近ニハ未タ敵ノ步兵ヲ見ス

三 諸兵ヨリ成ル敵ノ二縱隊ハ知多半島ヨリ刈屋ヲ經テ知立町ニ向

七前進シ午前十時ニハ縱隊ノ先頭ヲ以テ知立ニ達スルノ距離ニ在リ其兵力未タ詳ナラス
 四我獨立騎兵ハ目下其主力ヲ以テ三好村附近ニ一部ヲ以テ若園村附近ニ在リテ敵ノ騎兵ト對持ス

問題

午前十時ニ於ケル左縱隊長ノ情況判斷

情況判斷ニ就テノ説述

情況判斷ハ戰術上ニ於テ尤モ重キヲ置ク所ノモノニシテ此判斷ニ依リ攻撃防禦宿營及前進等總テ爾後ニ爲サントスルコトヲ決定シ得ルモノナリ而シテ此判斷ヲ細別シテ敵狀判斷任務判斷及地形判斷ノ三ト爲ス今先ツ此各種ノ判斷ニ就キ細説セントス
 其一敵情判斷

敵情ヲ得ルノ途ハ如何シテ得ラル、ヤ曰ク斥候並ニ前方ニ派遣セラレタル諸隊長ノ報告及土人ノ言問牒ノ報告等之ナリ而シテ戰時ニ在リテハ是等ヨリ得タル敵情ノ眞僞ニ就キ又一ノ判斷ヲ要スルモ學習上想定又ハ方略等ニ依リ與ヘラレタル各種ノ敵情ハ通常別ニ眞僞ノ判斷ヲ要スルコトナク直ニ之ニ據リテ判斷ヲ下スヘキモノニシテ此判斷ニ方リ先ツ着眼スヘキ要目ハ敵ノ兵力編組及現時ニ於ケル敵ノ狀態之ナリ其兵力編組等ヲ知ルトキハ之ヲ我軍ノ兵力及編組ニ對照シ又我カ任務地形ニ鑒ミ而シテ進テ攻撃スヘキヤ止テ防禦スヘキヤ將々退却スヘキヤ又ハ兵力ノ一部ヲ以テ敵ニ對セシメテ可ナルヤ等ヲ決定シ得ヘシ然レモ未タ敵ニ衝突セサルニ先チ彼ノ兵力ヲ知悉スルハ極メテ稀ナル所ニシテ之ヲ知ル能ハサルヲ常トス故ニ此際ニハ先ツ推定ヲ下ス可キナリ例ヘハ敵ノ運送船ノ多寡或ハ其縱隊ノ數及道路離隔ノ度又ハ其占領セル正面ノ廣狹或ハ其有スル砲數ノ多寡等ニ

據リ概略敵ノ兵力ヲ推測シ得可シ然レモ是素ト推定ナルヲ以テ推定
 其當ヲ失スル場合ヲ顧慮シ置カサレハ誤ヲ爲スニ至ルヘシ而シテ若
 シ右ノ如キ推測ノ材料ナキトキハ敵ノ兵力ハ未詳トシテ之ニ應スル
 處置ヲ決スルノ外ナキナリ
 敵ノ現時ノ状態トハ例ヘハ敵ハ某地ニ防禦陣地ヲ占領セリ敵ハ某地
 ニ宿營セルモノ、如シ敵ハ某街道ヲ前進中ニシテ其行進ヲ繼續セハ
 午前(后)何時ニハ何地點ニ達スヘシ敵ハ某日ヨリ某地ニ上陸中ナリ等
 ノ類是サリ是等ノ諸件ニ着目セハ我任務及地形等ト對照斟酌シテ我
 執ルヘキ方策ヲ定メ得ルナリ
 前述ノ諸件ニ着目シタル外尙一步ヲ進メテ敵ヲ捕後如何ナル事ヲ爲
 スカヲ推定スルヲ要スル場合屢之アルモノトス然レモ此事タル敵カ
 戰略及戰術的限効ヲ有セ正當ノ行爲ニ出ツレハ如何ナルヲ爲スカ
 ヲ推測スルニ止ルモ之ニシテ探ク立入りテ敵ノ目的等迄推測スルハ

無益ノトナルノミナラス之カ爲非常ニ不覺ヲ取ルニ至ルトアルヲ以
 テ宜シク之ヲ避クヘシ要スルニ占考的ニ敵情判斷ヲ爲スハ決シテ許
 サ、ル所ナリ

注意 學習上ニ於テハ地形又ハ情况等特ニ有利ナラサル以上ハ兵
 力ノ小ナルモノハ大ナルモノニ敵シ能ハスト爲スヘキモノニシテ
 假令ハ牽制戰ノ如キ場合又ハ地形上特異ニ有利ナラサルトキノ外
 一旅團ヲ以テ一師團ニ對シ眞面目ノ攻撃前進ヲ爲スカ如キハ許サ
 ル所ナリ之レ蓋シ學習上ニ在テハ彼我兩軍ノ實力等ハ差異ナキ
 モノト定ムルヲ以テ斯ノ如クスルハ止ムヲ得サル所ナレハナリ
 抑モ戰時ニ於テハ兩軍實力ノ差異及將帥ノ能力ノ懸隔アルカ爲メ
 寡以テ衆ニ對シ能ク優勝ヲ占メ得ルトアルハ人ノ能ク知ル所ナリ
 故ニ深ク此點ニ着眼シ以テ平素ノ研究カ却テ實戰ニ臨ミ百年ノ憾
 ヲ遺スノ基トナルカ如キノ愚ヲ爲スナキヲ要ス

行程ハ研究上ニ於テ通常一日約六里ト推定スルモ之レ一ノ標準タルヲ忘ルヘカラス敵ハ晝間ニ限ラス夜間若ハ日没ノ頃ヨリ行動ヲ開始スルヲアルヲ以テ敵ハ今夕何所ニ達シタルヲ以テ明日何時ニハ何所ニ到達スヘシト推測スルハ實際ニ於テ往々誤トナルコトアリ故ニ約一日行程前方ニ達シタル敵ハ今夜半若ハ未明迄ニ我ノ位置ニ到着スルモノトスルノ覺悟ヲ緊要トス

敵情判斷ノ形式上ニ於テ數多ノ說アリ今之ヲ列舉セハ左ノ如シ

- 甲 敵カ今後如何ナルヲ爲スヤハ推測スルヲ要セサル
是レ我ハ目下現出セル敵ノ情況ノミヲ基礎トシ取ルヘキ處置ヲ決定スルヲ最モ誤ナキ策ト爲スト云フニアリ
- 乙 目下ニ於ケル敵ノ狀態ノ外後來彼カ取ラントスル處ノ總テノ方策ヲ推定スルヲ要ス
是レ敵カ其孰レノ方策ヲ取ルモ我ハ之ニ應シ得ルノ處置ヲ取

ルヲ以テ萬全ノ策ナリト云フニアリ

丙 目下ニ於ケル敵ノ狀態ノ外後來彼カ取ラントスル諸方策中彼レニ最モ有利ナルモノヲ推定スルヲ要ス
是レ敵ハ誤ヲ爲サルモノトシテ我カ之ニ應スルノ處置ヲ決定スルヲ要スト云フニアリ

今此三種ノ說ヲ想定ニ依リ詳說セン

甲說 二十萬分一 豊橋名古屋參看

京坂地方ノ大會戰ニ參與スル任務ヲ有スル第一師團ハ中仙道及東海道ヲ經テ前進中ニシテ其東海道縱隊ハ某月某日豊橋ニ達セシ時縱隊長ハ左ノ報告ニ接ス

運送船四五十艘ヲ以テ輸送サレタル敵ハ昨日來武豊港附近ニ上陸ヲ始メタリ

此報ニ接シ縱隊長ノ敵情判斷ハ左ノ如シ

運送船ノ數ニ依リ考察セハ敵ノ兵力ハ一師團以上モアルナラン又武豊港ハ良好ノ上陸點ナルヲ以テ敵ノ上陸動作ハ迅速ニ結了セラ

ルモナラン師團若シ依然名古屋方向ニ前進ヲ繼續セハ此敵ノ爲メ我側背最モ危險ニ陥ルヘシ

斯ノ如ク判斷シ我隊ノ狀態及地形上ノ判斷等ヲ斟酌シテ武豊附近上陸ノ敵ニ對シ動作セン爲明日ハ岡崎附近ニ進出スルヲ要ストノ判決ニ歸ス

右ハ甲說ノ本領ナリ即チ敵カ上陸後名古屋附近ヲ占領スル目的ヲ有スルヤ或ハ我師團ノ兩縱隊ヲ各個ニ擊破セントスルカ又ハ我師團ヲ牽制シ其集中行軍ヲ妨害セントスルカ等ノ事ニ至テハ一モ記スル所ナキナリ

乙說 二十萬分一 京都及大阪參看

和歌山ニ上陸シタル南軍ハ勝戰ノ後大阪ヲ占領シ目下八幡附近ニ於テ北軍ノ主力ト相對ス

南軍ノ後續團隊タル第一旅團ハ某月某日私部及星田附近ニ達セリ此日旅團長ハ軍司令官ヨリ左ノ訓令ニ接ス

諸兵連合ノ敵ハ丹後地方ヨリ福知山—三田街道ヲ南進中ニシテ其行進ヲ繼續セハ本日三田附近ニ達スルナラン

貴官ハ此敵ニ對シ軍ノ側背ヲ掩護シ且爲シ得レハ之ヲ西北方ニ擊退スヘシ

- 此情況ニ於テ第一旅團長ノ敵情判斷ハ左ノ如シ
- 丹後地方ヨリ南進スル敵カ後來取ルヘキ策ハ左ノ三者ノ一ニ在ラ
- 一、速ニ茨木方面ニ前進シ我軍ノ側背ヲ脅威ス
 - 二、大阪方面ニ進出シ我軍ノ背後連絡線ニ逼迫ス
 - 三、再ヒ陸路中ニ壓迫セラレ其本軍ト隔離セラレ、ノ患ヲ除ク爲

先ツ第一着手トシテ退路ヲ東北方ニ變換セン爲メ伊丹平地ニ進出シタル後一時守勢ヲ執ル

斯ノ如ク敵情ヲ判斷シ任務及地形ヲ斟酌シ敵カ茨木方面ニ進出セハ其側背ヲ衝ク可ク大阪方面ニ前進セハ之ニ衝突ヲ試ム可ク又退路變換ノ策ヲ取ル爲メ防勢ヲ取ラハ猛烈ニ之ヲ攻撃シテ其運動ヲ妨ケ再ヒ隘路中ニ壓迫スル目的ヲ以テ明日ハ大阪ヲ經テ伊丹附近ニ前進ストノ判決トナル

右ハ乙說ノ本領ナリ即チ敵カ取ラントスル方策ヲ盡ク推定セリ

丙說

東軍ノ主力ハ目下關原附近ニ在テ敵ノ前進ヲ待チツ、アリ名古屋ニ在リシ歩兵第一旅團長ノ指揮セル一團ハ既ニ伊勢地方守備ノ爲派遣セラレアル支隊ヲ合セ東海道方面ヨリ前進スル敵ニ當リ軍ノ左側背ヲ安全ナラシムル任務ヲ以テ伊勢地方ニ派遣セラレ

某月某日四日市ニ達シ宿營ス

歩兵第一聯隊長ノ指揮セル伊勢地方守備隊ハ山田ニ駐屯シアリシモ此日午後津ニ移轉セリ而シテ未タ志摩地方ニハ敵兵上陸ノ景況無シ

狀況 此日午後旅團長ノ指揮下ニ在ル騎兵中隊ハ稍優勢ノ敵騎ト龜山附近ニ遭遇シ在野附近ニ退キ之ト對持ス午後八時迄ニ得タル情報ニ依レハ強大ナル混成旅團ノ敵ハ本日坂ノ下附近ニ宿營シ其一部ハ關ニ進出セルハ稍確實ト信スルヲ得

此情況ニ於テ歩兵第一旅團長ノ情況判斷左ノ如シ

敵ハ既ニ龜山以東ニ進出シタルナラン即チ寡兵ヲ以テ敵ヲ拒止シ得ル地ハ敵既ニ之ヲ占領セリト推定シ得ルヲ以テ旅團ハ明日兵力ヲ集結シタル後敵ニ當ルヲ得策トストノ判決トナル

右ハ丙說ノ本領ナリ即チ敵ノ取り得ル方策中彼ニ尤モ有利ナルモノ

ヲ推定シ之ヲ標準トシテ我取ルヘキ方策ヲ決定セリ
 以上記述スル所ニ由テ三種ノ形式上ノ差異ハ明瞭ナラン此ノ如ク形
 式ハ異ルモ其判決判決ハ敵狀ノ外任務及地形ト連繫スルモヲ見ヨ一
 モ正鵠ヲ失スルモノナシ然レモ千狀萬態ノ現象ヲ呈スルハ敵狀ノ常
 ナルヲ以テ是ニ臨機應變アルハ勿論ノコナリ故ニ甲說主張者モ敵ノ
 爾後ノ動作ニ就キ推定セサル可ラサルノ場合アルヘク又乙說主張者
 カ敵ノ方策ヲ唯一個ノミ推定スルニ止ルコトモアルナラン
 予ノ信スル所ニ依レハ敵カ後來如何ナルコトヲ爲スヤハ推定シ得ラル
 、ナリ假令ハ

名古屋附近ニ在ル其本軍ノ側背ヲ掩護シ且爲シ得レハ當面ノ敵ヲ
 西方ニ驅逐スル任務ヲ有スル某師團ノ半部ハ彦根附近ニ在リ遲レ
 テ到着シタル他ノ半部ハ四日市附近ニ於テ將ニ上陸ヲ完了セント
 ス此際京都方向ヨリ前進シタル微弱ナル師團ノ敵ハ草津附近ニ達

シタリトノ報ニ接シ彦根ニ在ル師團長ハ左ノ如ク敵狀判斷ヲ爲ス
 モ誤ニ非サルヘシ

敵ハ我兩縱隊ノ合セサルニ先チ各個ニ擊破スルコトヲ勉ムルナラン
 而シテ彼カ我縱隊ノ孰ニ主力ヲ向クルニセヨ他ノ縱隊ニ對シテハ
 兵力ノ一部ヲ分割スルナラン之カ爲ニハ少數ノ兵力ヲ以テ衆兵ヲ
 拒止シ得可キ堅固ナル陣地ヲ選ムナラシ然ルニ彦根方面ニ對シテ
 ハ此要求ヲ充スヘキ陣地ナシ之ニ反シ四日市方面ニ於テハ鈴鹿峠
 ノ險要アリ其他險路中ニハ堅固ナル陣地乏シカラス故ニ敵ノ取ル
 ヘキ策ハ一部ヲ四日市方面ニ割キ主力ヲ以テ彦根方向ニ攻勢ヲ取
 ルニアラン

又敵ノ取ルヘキ諸方策ヲ盡ク推定スルハ萬全ノ策ヲ立ル爲メ有利
 ナルカ如シト雖モ實際敵カ爲ストモ思ハレサル荒唐ナルコト推定
 スルハ徒ラニ腦裏ヲ錯亂セシムルノ基ニシテ遂ニ正當ナル判決ヲ

爲ス能ハサルニ至ルヘシ

以上論述スル處ニ依リ敵狀判斷ニハ先敵ノ兵力及現時ニ於ケル敵ノ状態ニ着眼スルヲ第一着手トシ次ニ必要ナル場合ニハ敵カ爾後取ラントスル方策ノ内彼ニ最モ有利ナル者一二ヲ推定スヘシ併シ此推定ハ字ノ如ク推定ナルヲ以テ之ヲ斷定ニ變セシメサルノ觀念必要ナリ其二任務判斷

任務ハ總テノ動作ノ標準ナリ而シテ任務ヲ達スル爲メニ攻撃スヘキヤ防禦スヘキヤ或ハ決戦ヲ爲ス可キヤ持續戦ヲ爲ス可キヤハ敵狀及地形ト相關聯シテ決定シ得ルナリ任務ヲ行フ上ニ於テ獨斷專行ノ度ハ其受クル所ヲ訓令等ノ要旨ト之レカ實行者ノ階級ニヨリ變化スト雖モ苟クモ諸兵連合ノ支隊以上ノ指揮者ノ位置ニ身ヲ置キ事ヲ處スルニハ能ク全体ノ情況ニ留意シ全軍ノ休戚利害ヲ標準トシテ任務ヲ解釋セサルヘカラス之カ爲メ初メ受タル任務ハ如何ナル情況ニ際會

スルモ之ヲ貫徹セントスルノ念ヲ一時中止シ先ツ目前ノ急務ニ處セサル可ラサル場合屢生スルナリ假令ヘハ

東西兩軍ハ神崎及池田間ニ於テ相對持ス

東軍ノ増援トシテ神崎附近ニ前進スヘキ任務ヲ有スル其師團ハ某月某日山崎附近ニ達シ宿營セリ同夜師團長ハ左ノ情報ニ接ス

諸兵連合ノ敵ノ一縱隊ハ伊賀國上野方向ヨリ西進中ニシテ本日笠置以東ニ達セリ

師團長ハ此報ニ接シ左ノ如ク任務ヲ判斷スルハ誤ニアラサルヘシ師團元來ノ任務ヲ達セン爲メ明日依然神崎附近ニ前進センカ笠置方向ヨリ前進スル敵ハ師團ノ側面ニ危險ヲ與フルノミナラス軍ノ側背モ此敵ノ爲メ危險ニ陥ルヘシ故ニ師團ハ目下ノ急務トシテ此敵ニ對シ動作セサル可ラス

又任務判斷ヲ爲スニ當リ任務ヲ達成スル上ニ熱血ヲ注キ且任務ノ全

部或ハ一部ニテモ達スルヲ得ハ率ユル部下ハ殲滅サル、モ辭スル處ニ非スト論決スルモノ往々之アリ併シナカラ此事タル一考ヲ要スヘキ事ナリ斯ル急進冒險的ノ事ヲ爲サストモ他ニ穩當ナル方法ニシテ其任務ヲ盡シ得ヘキトキハ之ヲ最良ノ方法ト云フヘキナリ即チ此方法ヲ經驗スルカ戰術ノ研究ナリ又任務上急速ナル運動ヲ要スルトキ道路不良ノ爲野砲ヲ委棄スルトカ又ハ輻重縱列ヲ敵手ニ委スルモ可ナリト云フ論ハ非常脱格ノ場合ニハ或ハ止ムヲ得サルトアラシテ決シテ通常ノ場合ニハ爲ス可キ事ニアラサルナリ

其三地形判斷

地形判斷ニ於テハ彼我兩者ノ中間ニ在ル地形カ敵情及任務ノ兩判斷ニ依リ決定サル可キ條件ヲ如何ニ實施セシムルカヲ發見スルニ在リ假令ハ敵情及任務ノ兩判斷ニテハ敵ヲ攻撃スルヲ要スルモ地形不利ノ爲一時守勢ヲ取ルトモアルヘク又敵ノ一陣地ヲ攻撃スルトキ地形

上如何ナル方向ニ主力ヲ向クヘキヤ否ヤ等ノトヲ決定スルカ如キ之ナリ

此等ハ分明ナル事ニシテ故ラニ説クノ要ナシ唯實地ト地圖トニ論ナク一見直ニ正當ニ地形ヲ判定シ得ルノ域ニ達セハ即チ完全ナル地形判斷ハ爲シ得タルモノナリ

以上ノ陳述ニ於テ敵情任務及地形ニ就キ個々ニ判斷ノ要旨ヲ述ヘタリ此三個ノ判斷ニ由リ判決ナルモノ生シ而シテ此各個ノ判斷ヲ現ハスモノカ所謂理由ナリ理由トハ此三者ヲ各項トシテ現セハ明瞭ナリト雖整然分割シ反テ意義ノ明瞭ヲ缺クカ如キハ其關連スルモノヲ一項中ニ現ハス可ナリ

此判決ニ由テ生スルハ處置ナリ處置ハ訓令或ハ命令等ヲ作爲スルノ基礎トナルモノニシテ概要ニテ可ナルモノナリ

情況判斷ノ講評

前文ニ陳述スル如ク情況判斷ノ記載法トシテ別ニ定則アルモノナラスト雖其成立ハ敵情、任務、地形ノ三者ナリ而シテ此三者ヲ別チテ論スレハ能ク理解シ得ルモノナレモ三者ヲ各別ニ論シタル爲返テ意義ノ不明瞭トナルヲアリ此ノ如キ場合ニハ三者ヲ混シテ論スルモ可ナリ要スルニ理由ナルモノハ順次ニ前述ノ理由ヲ後文ニ受ケテ更ニ別ノ理由ヲ生シ又之ニ理由ヲ生シテ遂ニ結果トナル如ク説述スヘキモノニシテ文章ノ半途ニ於テ理由ノ消滅スル例ヘハ……之ハ必要ナリト書テモ其結果ヲ論セス所謂結末ノ無キハ最モ不可トスル所ナリ

今日ノ情況ニテハ數種ノ答解ノ出ツルハ決シテ誤ニ非ス即チ前進、停止、轉進等ニシテ其孰ニシテモ皆爾後ノ情報ヲ得テ適當ノ處置ヲ爲サントスルニ在リ然レトモ其理由ヲ陳フルニ方リテ己レ舉母街

道ヲ前進スト決セハ他ノ手段タル知立ヘ轉進又ハ其地ニ停止等ノ事ヲ論スルニ全然誤ナル如ク又成ルヘク價值ナキ如ク説述シ是ヲ打消シテ自己ノ説ヲ確實ニセント勉ムルハ誤ニシテ轉進スルヲ判斷スルニハ己レ轉進ニ決心セシモノトシテ充分其利害ヲ研究セサルヘカラス此研究無クンハ己レノ理由ハ返テ薄弱トナルモノナリ

前進スルニハ其ノ目的點ヲ示スヘキナリ單ニ前進ト云ヘハ知立ヘモ又平針ヘモ前進ナリ宜シク何地ニ向テ前進スルヲ明記スルノ必要アリ

敵カ退却ノヲニ就テハ論スルノ必要ナシ之レ擊破シタルニ同シキヲ以テナリ宜シク我ニ取テ痛痒ヲ感スルヲ換言セハ敵ニ取テ有利ト思惟セラル、ヲニ就テ充分論究スルヲ要ス

知立方面ノ敵ハ眞ニ微弱トハ判斷スル能ハス何トナレハ諸兵連合

シテ且獨立シアルヲ以テ極メテ微弱ノモノト推定スル能ハサレハナリ

地形ノ論究ニ乏シキ者多シ知立方面ニハ敵ヲ拒止スル陣地無シト單ニ之ノミ書キ放シニテハ分明ナラス又陣地カ無キ故轉進セスト云フ如キハ全ク理由ナキコトニシテ陣地無クンハ無キニ從テ是ニ對スル手段ヲ講究セサルヘカラス
敵ヲ拒止シ云々ト書スルノミニテハ明瞭ナラス孰レノ地ニ於テ拒止スルヤ及其手段等ヲ示サ、ルヘカラス又東海道以北ノ運動ハ我ニ危険ナル故主力ハ知立方面ニ前進スト云フカ如キ唯進ミタルノミニテハ決シテ安全ト云フヘキニアラス前進シテ後如何スルカヲ示サ、ルヘカラス是等ハ畢竟地形ノ研究足ラサルノ致ス所ナリ
待機陣ナルモノハ占領スルニアラス布クモノナリ所謂布陣スルナリ而シテ唯單ニ陣地無キヲ以テ待機陣ヲ布クト云フハ了解ニ苦ム

所ニシテ敵優勢ナレハ孰レノ地點ニ於テ何ヲ爲シ敵劣勢ナレハ如何ナル手段ヲ執ルト云フ如ク例ヘハ何々ナルヲ以テ大林附近ニ位置シテ待機陣ヲ布クト書セサルヘカラス
處置ノ生シ來ルコトハ皆書ク必要アルモ其他ノコトハ書クモ益無シ又時々刻々處置ナシト云フコトハアラス現在ノ儘ニテ何事モ爲サスト云フモ之レ一ノ處置ナリトス
要スルニ理由ハ他人カ其判決ヲ見スシテ理由ヲ讀下シ自然ニ判決ヲ知り得ル如ク書セサルヘカラス

午前十時ニ於ケル左縱隊長ノ情況判斷

判決

知立方面ノ敵ニ遭遇ノ目的ヲ以テ若林ニ向ヒ前進スルヲ要ス

理由

一、平針方面ノ敵ハ多クモ我右縦隊ト同等ナルヘキヲ以テ此敵ノ我方
面ニ前進シ來ルノ顧慮甚タ少シ蓋シ敵兵斯ノ如クナルキハ我右縦
隊ニ對シテ其側背ヲ暴露シ同時ニ之ニ對シテ名古屋ヲ開放セサル
ヘカラサレハナリ

知立方方面ノ敵兵ハ其兵力微少ニシテ且如何ナル企圖ヲ有スルヤヲ
知ラスト雖目下ノ行進方向ハ我師團ノ側方ニ對シテ大ナル顧慮ヲ
與フルモノニシテ又其諸兵種ヲ編合セルト獨立シテ此方面ニ動作
スルコトニ由テ見ルモ我縦隊ニ比シテ甚シク寡弱ノモノニアラサ
ルヲ推定シ得ヘシ

二、左縦隊當初ノ任務上ヨリ云フキハ右縦隊ト協力シテ平針方面ノ敵
ヲ擊攘スルヲ要ス然ルニ目下ノ情況ハ縦隊ニ此運動ヲ許サス何ト
ナレハ知立方方面ノ敵兵ハ我ノ平針方面ノ敵ニ衝突スルノ時期若ク
ハ之ニ先テ我側背ニ衝突シ得ルノ距離ニ在ルヲ以テ當ニ縦隊ノ目

的ヲ達成シ得サルノミナラス或ハ師團全体ヲシテ不幸ノ情況ニ陥
落セシムルヤヲ保シ難ケレハナリ故ニ左縦隊刻下ノ任務ハ知立方
面ニ對スル顧慮ヲ除去スルニ在リ而シテ之カ爲一時師團當初ノ目
的ヲ阻滯セシムルカ如キハ元ヨリ免ル能ハサル所トス

三、知立方方面ノ敵兵ニシテ我ヨリ優勢ナラサルキハ先ツ自ラ進テ之ニ
衝突シ少クモ東海道以南ニ之ヲ擊攘セサルヘカラス何トナレハ東
海道以北ニ此敵ヲ現在セシムルハ我前進運動ニ對シテ近ク側背ニ
危害ノ顧慮アラシムルノミナラス東海道以北ニハ此敵ニ對シ我寡
兵ヲ以テ之ニ對持セシメ得ヘキ適當ノ陣地ナケレハナリ之ニ反シ
敵若シ我ヨリ優勢ナランカ成ルヘク遠クニ之ヲ拒止シ我師團本隊
ノ側背ヲ掩護シテ其進退ヲ自由ナラシムルヲ要ス然ルニ前述ノ如
ク我現在地ト敵兵トノ間ニ於ケル地形ハ至ル所隱蔽地ヲ以テ相連
繋スルカ故ニ一モ優勢ノ敵ヲ拒止スル陣地無シ然レトモ一方ニ於

テハ地形ノ隠蔽錯雜ナルニ依リ之ヲ利用シテ一時敵ノ前進運動ヲ阻止セシムルニ足ルヘシ若シ然ラスシテ適當ノ陣地ヲ求メント欲セハ矢作川左岸ノ陣地ニテ拒止スルノ外ナシ然ルニ之カ爲今ヨリ現在地附近ニ停止シテ情報ノ到ルヲ待シカ果シテ所要ノ情況ニ適時接シ得ルヤヲ期シ難キノミナラス幸ニシテ之ヲ得ルトスルモ或ハ既ニ之ニ應スルノ好機ヲ逸スルノ患アリ且矢作川左岸ノ陣地ハ稍後退ニ過クルヲ以テ敵ノ爲ニ多ク運動ノ餘地ヲ與ヘ之ニ反シ大ニ我師團本隊ノ運動ヲ制肘セラル、ノ害アリ故ニ此場合ニ在テモ尙我ヨリ進テ敵ニ遭遇シ以テ成ルヘク後方ニ餘地ヲ多カラシムルヲ要ス況ヤ敵狀ヲ求ムルノ手段ハ自ラ進テ遭遇スルヨリ確實且迅速ナルモノ莫キニ於テヲヤ又若シ彼我ニ應セスシテ平針方面ニ轉進セシカ我モ亦轉進シテ彼ノ側背ニ衝突シテ以テ其運動ヲ妨害スルヲ要ス而シテ平針街道及之ニ平行セル諸道路ハ縱隊ヲシテ此運

動ヲ施行セシムルニ妨ナシ

彼我互ニ前進スルモノトセハ目下ノ距離上若林東北方附近ニ於テ遭遇スヘシ故ニ先ツ若林ニ向テ前進スルヲ可トス此ノ如クスルハ假令敵兵我ニ遭遇シ來ラスシテ他ノ動作ニ出ツルコトアルモ遅クモ該地到着迄ニハ之ヲ判知シ得レハナリ

縱隊前進路ノ地形前述ノ如クナルヲ以テ縱隊ハ利用シ得ヘキ諸道路ヲ執リ成ルヘク數縱隊ト爲リテ前進スルヲ可トス斯ノ如クスル時ハ同時ニ平針方面ニ對シテ我側面ヲ警戒シ又要スル片ニ臨ミ該方面ヘノ轉進ヲ容易ナラシムルノ利アリ

平針方面ノ敵兵ニ對シテハ前項ニ述ヘタル理由ニ依リ一時之ヲ師團本隊ニ一任スルノ他ナシ然レトモ彼是ノ連繫ヲ保持シ且成ルヘク我運動ヲ秘匿スル爲該方面ニ於ケル騎兵ノ支援トシテ一小部隊ヲ舉母街道上ニ殘置スルヲ要ス

右ノ理由ニ依リ次ノ處置ヲ爲ス

一、三好附近ニ現在スル騎兵ハ依然該方面ニ在リテ平針方面ノ敵ヲ監視シ且師團本縱隊トノ連絡ヲ保持シ及特ニ境村方向ヲ搜索セシム

二、前衛ノ歩兵大隊ヨリ一中隊ヲ舉母街道ニ前進セシメ筋生村附近ニ在テ我騎兵ノ支援トナリ該街道ヲ警戒シ併セテ師團本隊トノ連絡ヲ保持セシム

三、現在ノ前衛大隊(一中隊缺)ニ騎兵一分隊ヲ附シ右側衛ト爲シ小坂及逢妻村本地ヲ經テ堤新馬場ニ向ヒ前進セシム

四、歩兵第一聯隊第二大隊(二中隊欠)ニ騎兵二分隊ヲ附シ新前衛ト爲シ樹木村ヲ經テ知立街道ヲ若林北方ニ向ヒ前進セシム

五、歩兵第十五聯隊第一大隊ニ騎兵一分隊ヲ附シ左側支隊ト爲シ樹木ヨリ竹村ニ通スル道路ヲ前進セシム

六、他ハ本隊ト爲リ新前衛ニ續行ス

七、若林方面ニ在ル騎兵ハ引續キ搜索ニ任セシム

八、大行李ハ其先頭ヲ以テ澁川村ニ停止セシム

九、以上ノ決心及處置ヲ師團長ニ報告ス

問題

平針及知立兩方面ヨリ優勢ナル敵ノ壓迫ヲ受ケ師團本隊ノ矢作川左岸ニ移ル(飯田街道ヲ)ノ場合ニ於テ左縱隊ノ知立方面ノ敵ニ對シ師團本隊ノ左側背ヲ掩護スル目的ヲ以テスル澁川附近陣地占領ノ略圖

注意 左縱隊ノ後尾矢作川ヲ通過シタル後敵ノ樹木附近ニ現出スルニハ約一時間ヲ有ス

舉母街道ニモ一部ノ敵ハ前進シツ、アリ此敵モ右ト殆ト同時刻ニ現出ス

矢作川ハ砲兵ノ通過困難ナリ

野見ノ渡場ヨリ野見山室村ノ間ハ徒涉出來サルモノトス

澁川附近陣地占領ノ講評

防禦配備ハ敵ノ爲シ得ル丈ノ方法ヲ考ヘテ之ニ應スル兵力ヲ配備シ置クヲ要ス此故ニ餘リ長時間兵力ヲ集結シ置クハ遂ニハ時機ヲ失スルニ至ルモノトス

騎兵ノ主力ハ梅坪方向ニ使用シ其一部ハ南方ニ使用スルヲ可トス圖上ニ於テ砲兵陣地ヲ撰定スルハ其展望ノ度ヲ驗スル爲メ断面ヲ編成スルヲ要ス又敵ノ占領スルナラント思惟スル高地ニ對シテモ亦断面ヲ作りテ之ニ由テ我陣地内部ヲ望見セラル、ヤ否ヤ及其程度等ヲ見ルヲモ必要ナリ

此場合ニ於ケル砲兵陣地ハ既ニ地形カ定メ在リテ森村東方高地ナルコトハ一目瞭然タルヘシ此砲兵陣地ヲ定ムレハ次テハ其價值ノ如

何ヲ見ルヘシ而シテ後歩兵ノ配備ヲ定ムルモノトス

森村東方高地ノ砲兵陣地ハ舉母方向及梅坪村方面ニ對シテ充分ノ効力ヲ現ハシ得然レトモ根川村方向ニ對シテハ射界所々遮蔽サル、患アリ

此場合工兵ハ砲兵ノ工事ヲ助ケシメ其後ニハ砲兵ノ附近ニ位置シテ其護衛ヲ兼ネシムルヲ宜シトス

第二線ノ堡壘ハ設ケサルヲ宜シトス戰鬪ノ景況ニ依リテハ如何ニ變スルヤ知ルヘカラス是際若シ豫メ第二線ニ堡壘アラシカ動モスレハ之ニ牽カレテ不知不識無益ニ堡壘ニ據ルノ弊害ヲ生スヘシ總豫備隊ハ砲兵ノ後方又ハ其側方ニ置クハ出撃ニ方リ放列前ヲ通過スルコトアラシカ敵彈ヲ被リ且我射撃ヲ妨害シ或ハ砲兵ノ人心ヲ騷擾スルヲ以テ是等ヲ充分顧慮シテ豫備隊ノ位置ヲ決定スヘシ出撃ニ方リテハ我カ一翼ニ部隊アルカ或ハ翼ヲ托スヘキ地物在ル

ニ非サレハ不可ナリ又此場合豫備隊ヲシテ孰レノ方面ヘモ應セシ
 ムル願慮ヨリシテ圓ノ中心ニ置ク主義ハ適當ナラス此ノ中央ノ位
 置ヨリ進出スル方面ノ如何ニ依リテハ敵ヨリ大ナル損害ヲ被ムル
 一アラン又澁川村ノ方面ニ敵ノ運動スルコトアラハ早クヨリ之ヲ
 知り得ルヲ以テ豫備隊ヲ我左翼ニ置クモ之ニ應スルコト敢テ難キ
 ニ非サルヘシ

此陣地ハ地形堅固ナルヲ以テ敵カ攻撃シ來ル公算ハ尠カルヘシ然
 レトモ此ノ地形ノ堅固ハ我出撃困難ナルヲ以テ彼ハ一部ヲ以テ我
 ヲ押へ退路ヲ平針方向ニ取ルハ爲シ易キ動作ナルヲ以テ此運動ヲ
 爲シテ我師團本隊ノ方面ニ赴クヤモ計リ知ルヘカラス斯ノ如キ場
 合ニ於テ我縦隊ハ出撃ヲ行ヒ以テ之ヲ妨ケサルヘカラス換言セハ
 攻勢ヲ執テ我師團本隊ノ矢作川左岸ニ移ル動作ヲ掩護セサルヘカ
 ラス故ニ攻勢移轉ノ場合ヲ願慮シテ配備セサルヘカラス

敵ハ我砲兵火ト視線トヲ免レテ根川村北方ノ無名寺ニ據リテ川ヲ
 涉リ御立ノ凸角ニ進入スルコトハ行ヒ易キ動作ナルヘシ故ニ前項
 ニ説ク出撃動作ト茲ニ豫想スル敵ノ攻撃動作トニ鑒ミ都合好ク諸
 隊ヲ配備セサルヘカラス然レトモ一方ニ偏シテ他方面ノ配備薄弱
 トナルカ如キコト無キニ注意スヘシ

敵我右翼ニ迫ラントセハ我砲兵火ヲ被ムルト地形開濶ナルヲ以テ
 大兵ヲ持來ルコト困難ナルトニ依テ我右翼ハ優勢ノ敵ニ對スルコ
 トヲ得ヘシ

注意 工事ニ就テ

敵ノ攻撃方向ヲ判知スルヤ之ニ應スヘキ工事ヲ始ムト云フコトハ
 之ヲ廣義ニ解釋シ工事ヲ施スニ當テハ單ニ敵カ正當ナル方法ニ依
 リテ攻撃シ來ル場合ニ應スル如ク構築スルニ止ラス時間ニ餘裕ア
 ルトキハ敵カ不正當ナル方法ニ依テ攻撃シ來ル場合ニモ應シ得ヘ

キ豫備工事ヲ施スヲ可トス

經始ハ地形ト密接ノ關係ヲ有スルコトハ今更論スルヲ要セスト雖モ實戰ニ於テハ經始容易構築單簡ナルヲ以テ直線經始ニ傾キ易シト雖モ此經始ハ地形ニ適應シ難ク又敵ノ縱射ニ對シ損害ヲ蒙ムルコト大ニ且其一部ヲ敵手ニ委セハ忽チ全部ヲ失フニ至ル今回ノ戰役ニ於テ敵ハ曲線又ハ屈折經始ヲ用ヒ必ス多クノ横牆ヲ設ケタリ又高地ノ斜面ヲ圍繞セル式及巔頂ヨリ稜線ヲ通スル式ハ兩者各利害ヲ有スルヲ以テ之ヲ併用スルトキハ抵抗力ヲ増大ニスルモノナルコトヲ經驗セリ又斜面ヲ圍繞セル散兵壕ハ左ノ利益ヲ呈スルヲ以テ陣地ノ翼及據點等ニ之ヲ應用セハ其利多カラシ然レトモ容易ニ發見セラレ易ク射擊効力薄弱トナルノ不利ヲ免レサルヲ以テ其構築ニ注意シ之ヲ輕減スルコトヲ圖ルヘシ

狹少ナル地區ニ比較的多クノ兵ヲ配置シ得

斜面前ノ死角ヲ減少ス

攻撃ヲ受ケサル方面ノ散兵壕ハ掩蔽部ノ用ヲ爲ス

敵ノ包圍ヲ受クルモ志氣ヲ沮喪スルノ患少シ

砲彈ヲ以テ副防禦ヲ破壞掃蕩スルハ實際不可能ノコトタリ且暗夜ニ於テ防禦線ノ前方約五十米突ニ之ヲ設クルハ稍遠キニ過キ其保護確實ナラサルカ如キヲ以テ寧ロ之ヨリ近ク副防禦ヲ設クルヲ可トス材料稀少ナルトキニ於テ殊ニ然リトス

防禦配備略圖記載ノ注意

一、砲兵陣地

假令一中隊ナルモ二箇所以上ノ肩牆ヲ設クルコトアリ又數中隊ニシテ最要點ノ肩牆ニ一部ノ砲兵ヲ備ヘ他ハ待機陣地ニ在ラシムルカ如キ場合ニ在リテハ其位置ヲモ示スヘシ此他中隊段列及要スレハ聯隊段列ノ位置ヲ記スヘシ

射撃スヘキ主要ナル地區地物ニハ放列ヨリ線ヲ以テ示スヘシ又射
界ノ廣表ヲ線ヲ以テ示スユトアリ

二第一線ニ於ケル歩兵ノ展開及其位置

現時必要ノ隊數ヲ現ハシ他ハ後方ニ置ク(散兵壕ヲ構築セシ場合ニ
於テモ亦然リ)

三騎兵ノ用法

隊標ヲ以テ示スヲ例トス然レトモ遠ク派遣スル場合ニ在リテハ備
考中ニ記スルコトアリ

四總豫備隊ノ位置及其隊形並ニ衛生隊ノ位置

衛生隊若シ開設準備ノ位置ニ在ル時ハ隊標ノ傍ニ註記スヘシ

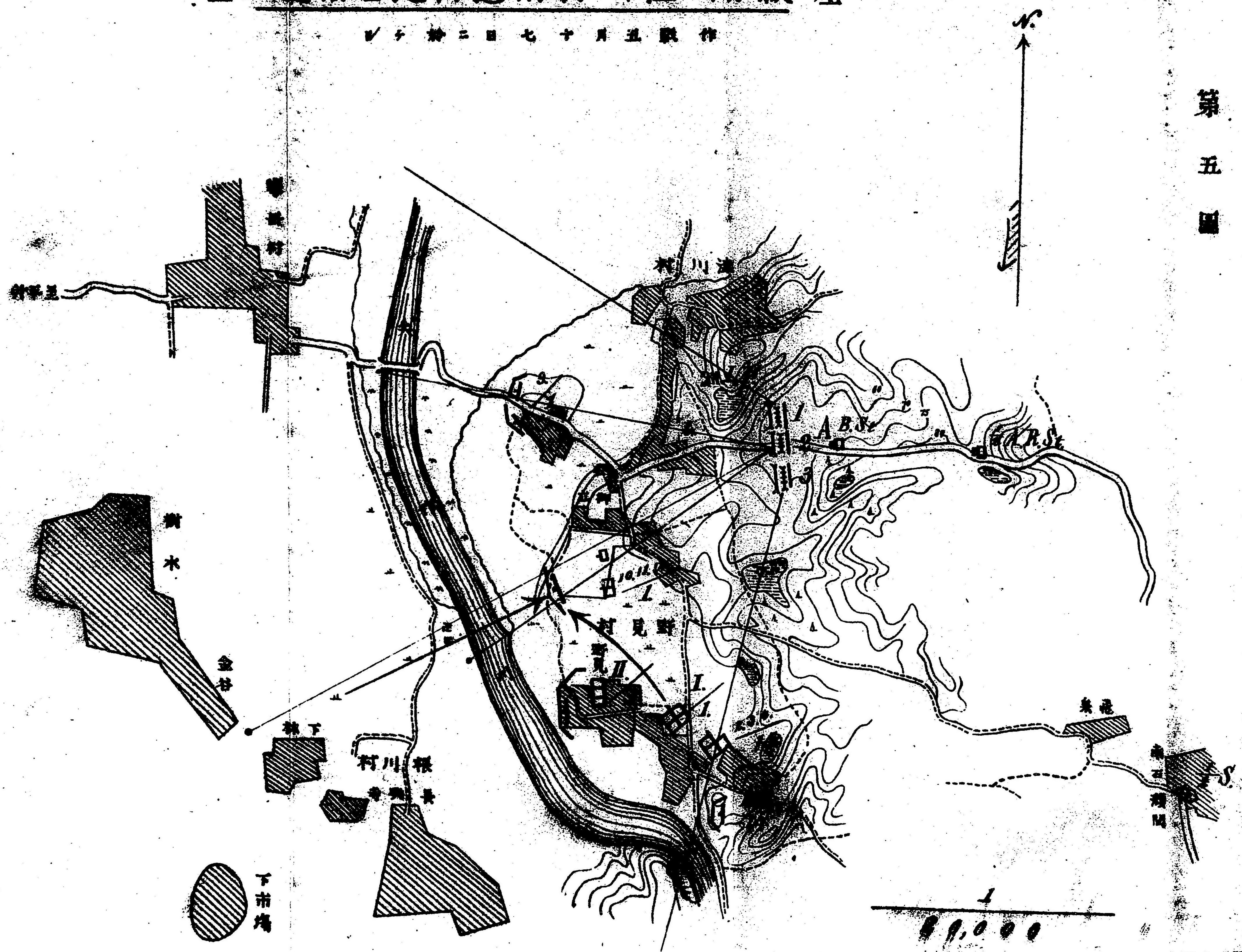
五收容陣地ノ位置及工事並ニ之ニ要スル人員時間(餘裕アリ且之ヲ要
スルトキ)

六指揮官ノ位置

圖略之領台地障迫附村川澁、隊縱左

ノチ繪二日七十月五戰作

第五圖



七、敵ノ砲兵豫想ノ位置及敵ノ攻撃方向並ニ我出撃方向之ヲ要スルト

(キ)

八、野戰病院、大行李、其他輜重ノ位置(備考ニ記スルモ可)

九、備考ニ記スルコトハ掲クルノ必要ナシト雖、或場合ヲ設想シテ記セハ
退路及總豫備隊ヨリ第一線ニ至ル前進ノ考案、工事ノ種類及所要隊
數又ハ人員、器具ノ配當、作業時間等ナリ

澁川附近陣地占領ノ略圖ハ第五圖ヲ見ルヘシ

情況判斷ヲ爲シタル時ノ情況ニ立戻テ研究セントス

情況 午前十一時三十分左縱隊ハ縱隊本隊ノ先頭ヲ以テ土橋ニ到着
ス(若林方向ニハ騎兵第二中隊ノ約二小隊在リ中隊長之ヲ指揮セリ)此
時前方ノ騎兵隊長ヨリ左ノ報告到着ス

午前十一時若林北方發

一、午前十時過敵ノ縱隊ノ先頭ハ知立町ニ達スルモ未タ其兵力及其後ノ運動方向ヲ知ルヲ得ス

二、目下我前面ニ在ル敵ノ騎兵ハ我ヨリ稍優勢ナリ中隊ハ今ヨリ堤村方向ニ轉シ中田方面ヨリ敵情ヲ搜索セントス

問 此報告ニ依リ左縱隊長處置アリヤ

答 處置無シ唯左側支隊及右側衛ニ此旨ヲ通報ス

我前衛ハ途中敵ノ騎兵ニ出會シ之ヲ驅逐シ午后零時三十分前衛ノ先頭ヲ以テ若林西北ノ森林縁ニ達シテ停止ス此時縱隊長ハ中田附近ニ在ル騎兵隊長ヨリ左ノ情報ヲ受ク

敵ノ兵力ハ約二乃至三大隊砲兵約二中隊ニシテ知立附近ニ停止セルモノ、如シ駒場ニハ若干ノ敵ノ歩兵アリ

同時師團長ヨリ左ノ訓令午前十時四十五分四郷發ヲ受ク

一、舉母發貴官ノ報告ヲ受領ス

二、平針方面ノ敵ハ我本縱隊ヨリモ稍劣勢ニシテ平針附近ニ停止セルモノ、如シ師團ハ當初ノ目的ニ從ヒ歩兵第十五聯隊ヲ以テ舉母街道ヨリ他ノ主力ヲ以テ依然飯田街道ヨリ平針ニ向ヒ前進セントス

要スレハ師團ノ後方連絡線ハ一時四郷ヨリ明知ニ通スル道路ニ移轉シ得ヘシ

三、貴官ハ知立方方面ノ敵ニ對シ師團ノ側背ヲ掩護シ敵若シ劣勢ニシテ後顧ノ患ナキ限ハ所要ノ部隊ヲ該方面ニ殘置シ他ヲ以テ平針方面ニ向ヒ師團ニ合スルヲ勉ムヘシ

貴官ノ舉母街道上ニ殘置セル歩兵中隊及騎兵ハ爾後暫ク予ノ直轄ニ爲ス但騎兵第二中隊ノ殘部ハ依然貴官ノ指揮ニ屬スル爲メ其方面ニ到ラシム

問 左縱隊長ノ決心如何

答 前決心ヲ續行ス但處置次ノ如シ

前衛ハ駒場ニ向ヒ前進シ本隊ハ之ニ續行ス

右側衛大隊ハ坂前村ヲ經テ駒場ニ前進ス

左側支隊ハ北中根ヨリ花園ニ向テ前進ス

縱隊長ハ砲兵隊長ト共ニ前衛本隊ノ先頭ニ移ル

情況 前衛ノ先頭駒場ノ東北方瓢池南端ニ達スルヤ駒場村ノ村端ニ

少許ノ敵兵ヲ見ル又同地東方ノ小松山ニ敵ノ斥候ヲシキモノ徘徊ス

前衛ハ小松山ヲ經テ瓢池南方ノ池ノ南ナル森林ニ進ム此地ヨリ前方

ヲ見レハ駒場南方無名部落附近ニ散兵壕ヲシキモノヲ認ム

本隊ハ駒場東北ノ陸田ニ開進シ砲兵ハ林縁ヲ先頭トシテ停止ス

前衛ノ二中隊ハ圖上逢字ノ凸角ヲ占領ス

右側衛ハ其一部ヲ以テ駒場ノ南端ヲ占領シ主力ハ開進ヲ爲ス

左側支隊ハ花園村方向ヨリ八橋及牛橋ノ敵ノ有無ヲ搜索ス

前衛騎兵ハ左側ニ獨立騎兵ハ牛橋方向ニ在リ

敵ノ正面ハ無名部落ノ西方ノ凸角ヨリ十五米ノ曲線ニ沿ヒ本道上ニ

六二五ノ獨立標高點ノ北方ノ小森林ニ亘ル尙敵ノ砲兵ハ約二中隊ニ

シテ網長池ノ東端ニ軒屋附近ニ放列ヲ布ク

問 此陣地ハ孰レヲ攻撃セハ可ナルヤ又其處置ヲ陳フヘシ

答 敵ノ左翼ニ攻撃ヲ施スヲ要ス處置左ノ如シ

步兵第十五聯隊第一大隊ハ八橋ヨリ敵ノ右翼ヲ脅威ス

前衛ノ第一聯隊第五第六中隊ハ現在地ヲ占領シテ正面ニ準備射

撃ヲ施シ他ノ二中隊ハ駒場ノ南端本道ノ東方ヲ占領ス

右側衛ノ第二聯隊第一第二第三中隊ハ駒場西方凸角ノ林縁ヲ占

領ス

第一聯隊第三大隊ハ豫備ト爲リ駒場北方ノ低地ニ位置ス

砲兵ハ駒場村ト書シアル字ノ傍ノ墓地ニ放列ヲ布ク

情況 前考案ニ依テ攻撃ヲ決行セリ敵ハ決勝攻撃ノ時機ニ先チ退却ヲ始メタリ縱隊長ハ其時機ニ乘シテ敵ノ陣地ニ侵入シ第一聯隊第三大隊ヲ以テ追撃ニ任シ知立町ノ南端ヲ占領シ左翼ニ在ル第十五聯隊第一大隊ヲ以テ牛橋村ヲ占領セシム他ノ諸隊ハ無名部落ノ高地上ニ集合ス砲兵ノ一中隊ハ追撃ニ加ハル爲知立町ノ方向ニ前進ス此時獨立騎兵ハ完全ノ中隊トナリ我カ右側ニ動作シ敵ノ退却ヲ見テ追撃ス

敵ハ甚シク散亂セスシテ荊谷街道ヲ南方ニ退却セリ戰鬪ノ結果ニ依レハ敵ノ兵力ハ嚮ニ騎兵隊長ノ報告ノ通ナリ

騎兵ノ報告ニ依レハ師團ハ平針附近ニ於テ敵ト衝突シアル筈ナリ此時午后四時ナリ

問題

午后四時ニ於ケル左縱隊長ノ決心

左縱隊長決心ノ講評

前面ノ敵ノ後續隊ノ有無又ハ敵カ境川右岸ニ退却セハ我ハ何々スルト云フカ如キトヲ想像スルハ之レ杞憂ニシテ且斯ノ如キトヲ考フレハ際限ノ無キトナリ

平針方面ハ交綏セシヤ或ハ一部丈僅ニ戰鬪ヲ開キ其主力ハ戰ハスシテ在ルヤ要スルニ情報無キヲ以テ知ル能ハス故ニ此不明ノ狀況ニ就テ宜シク判斷ヲ爲スヘキナリ

決心ノ先キノ先迄書クハ必要ナシ決心ナルモノハ目下將ニ爲サントスルト云ヒ現ハスモノニシテ例ヘハ敵ヲ野田村以南ニ擊攘シ然ル後境村附近ニ宿營シ明日主力ヲ以テ師團ニ合セント云フカ如キ決心ハ頗ル不明ノ決心ニシテ明日ノト迄今決心シテモ情況ノ變遷ニ依リ又ハ師團長ノ訓令ニ接シテ如何ニ變スルヤ知ルヘカラサ

ルナリ

一部隊ヲ殘シテ當面ノ敵ニ對セシメ主力ヲ提ケ平針方向ニ轉進スト決心セシ以上ニハ井ヶ谷ニ宿營セハ荊谷方面ノ敵ニ再ヒ當ルト出來スト云フカ如キヲ喋々スルハ未タ不安心ニシテ荊谷方面ニ意ヲ牽カル、トヲ現ハスモノニシテ此ノ如ク雙方ニ牽カル、如キハ不決心ヲ現ハスモノナリ

此場合我縱隊ノ執ルヘキハ主力ヲ舉テ師團ニ合スルカ又荊谷以西ニ敵ヲ擊退スルカノ二策ナルヘシ第二策ヲ執レハ一部隊ヲ知立附近ニ置クヨリ長ク後顧ノ患ヲ斷ツトヲ得ヘシ此際第一策ヲ執ルヲ得ハ頗ル好ム所ナルモ蓋シ爲シ難キ動作ナルヘシ

午后四時ニ於ケル左縱隊長ノ決心

是ヲ境川以西ニ擊攘スルノ目的ヲ以テ前面ノ敵ヲ追擊セントス

理由

一 前面ノ敵ハ退却セリ然レモ戰鬪ノ状態ニ依レハ尙我ニ對シテ動作シ得ヘキ餘力ヲ存セリ故ニ未タ全ク此方面ニ對スル顧慮ヲ除却セシモノト云フヘカラス然ルニ今ヨリ直ニ之ヲ追擊センカ譬ヘ之ヲ殲滅シ得サルモ之ヲ境川以西ニ擊攘スルニ難カラス果シテ斯ノ如クナランカ殆ト此敵ニ對スル後顧ノ患ヲ除キタルモノト云フヘシ而シテ此目的ノ爲ニ目下ノ好機ヲ逸スル時ハ再ヒ之ヲ求メ難シ

二 然ルニ一方ニ於テハ任務上縱隊ハ狀況ノ許ス限り成ルヘク速ニ且成ルヘク多クノ兵力ヲ以テ師團ニ合スルヲ勉メサルヘカラス今ヨリ平針方面ニ轉進センカ本日ヲ以テ之ニ接近シ明朝早ク之ニ合スルヲ得ヘシ然レモ之カ爲一部隊ヲ留メテ前面ノ敵ニ對セシメサルヘカラス然ルニ知立附近ノ地形ハ一時敵ノ前進ヲ拒止シ得ヘキ陣地無キニ非サルモ何レモ脆弱ニシテ且其兵力ニ適應セス加フルニ敵ノ働作地域尙廣大ナルヲ以テ假令一時之ヲ阻止シ得ルトスルモ

早晚再ヒ我側背ヲ脅威セラレ、ノ憂無キ能ハス果シテ斯ノ如クナ
 ランカ假令一時師團ニ接近シ得ルモ名古屋方面ノ敵ニ對シ之ト協
 カシテ充分ノ働作ヲ爲ス能ハサルニ至ルヘシ若シ師團ニシテ此ノ
 如キ顧慮アルニ拘ラス一刻モ速ニ我來援ヲ要スル狀況ニ遭遇シ在
 リトセンカ縱隊ハ固ヨリ直ニ該方面ニ轉進スヘシ然ルニ師團ハ既
 ニ敵ト衝突シ其後ノ狀況不明ナリト雖モ未タ此ノ如キ切迫ノ情報
 ニ接セス且到底本日中ニ其動作ニ參與シ得ルノ望ナシ若シ明朝之
 ニ合スルノ目的ヲ以テ本日之ニ接近シ在ルト云ハンカ若カス先ツ
 前面ノ敵ニ對スル顧慮ヲ除カンニハ何トナレハ明朝以後ニ於ケル
 我師團ノ動作ニ對シテハ一刻ヲ爭フテ之ニ合スルヨリモ長ク後顧
 ノ患ヲ絶チテ獨リ我縱隊ノ爲ノミナラス師團全体ノ爲ニ大ニ我動
 作ノ自由ヲ制スルヲ有利トスレハナリ況ヤ師團長訓令ノ要旨ニ徹
 スルモ前面ノ敵ニ對シテ尙後顧ノ慮アル限リハ名古屋方面ノ敵ニ

對シテ暫ク我縱隊ノ協力ヲ算シアラサルナリ

三、尙續テ荊谷ニ向ヒ前進スルトキハ今ヨリ直ニ平針ノ方面ニ轉進ス
 ルニ比シテ固ヨリ師團ニ合スルノ時間ニ遲緩シ同時ニ一時敵ニ牽
 制セラル、如キ不利アリト雖知立荊谷間ノ距離僅少ニシテ一度荊
 谷ヲ占領スルルハ最早之ヨリ前進スルノ要ナク且容易ニ多クノ兵
 カヲ以テ師團ノ方面ニ轉シ得ルトニ依リ前不利ヲ以テ其利ヲ棄却
 スルニ至ラス又一方ニ於テハ敵ヲシテ成ルヘク我運動ヲ覺知セサ
 ラシムルニハ現在地附近ニ於テ今ヨリ直ニ轉進スルヨリモ境川ノ
 障碍ヲ隔テ、明朝未明ニ運動スルニ大ニ便ナルノ利アリ
 又時ハ既ニ午后四時ニシテ縱隊ハ今朝來稍長キ行軍ノ後引續キ戰
 鬪ヲ交ヘタルヲ以テ軍隊ノ疲勞ハ決シテ尠カラサルヘシ然レモ日
 沒迄ハ尙若干時間ヲ有スルト目下ノ時機ヲ逸スヘカラサルニ依リ
 固ヨリ暫ク此顧慮ヲ恐ハサルヘカラス

右ノ理由ニ依リ次ノ處置ヲ爲ス

一 獨立騎兵中隊ハ引續キ前方ニ動作シテ退却セル敵ノ運動ヲ搜索セシム

二 知立ニ在ル歩兵第一聯隊第三大隊砲兵第一中隊騎兵一小隊一分隊欠ヲ前衛トシテ苜谷街道ヲ苜谷ニ向ヒ前進セシム

三 牛橋ニ在ル歩兵第十五聯隊第一大隊騎兵一分隊ハ新田及上重原ヲ經テ苜谷ニ向ヒ前進セシム

四 其他ハ本隊トナリ前衛ニ續行セシム

五 大行李ニハ知立町ニ向ヒ前進ヲ命ス

六 駒場ニ於ケル戰鬥ノ狀況ト共ニ以上ノ決心及處置ヲ師團長ニ報告ス

本想定ニ依ル今後ノ研究ハ敵ヲ境川右岸ニ擊攘シタル後平針方面ニ

轉進スルニ在リ然レトモ是等ノ動作ハ既ニ諸種ノ圖上戰術書ニ散見スル所ニシテ殆ト蛇足ニ過キサルヲ以テ是ヲ以テ研究ノ終トス
尙又本篇ニ於テ講述セントシタリシ事項ハ側衛及後衛ノ動作威力偵察井然タル露營諸給養法ノ應用、攻撃及退却等ノ諸命令ナリシモ別ニ篇ヲ分テ説述スルコトトシ之ヲ他日ニ讓リ補遺トシテ二三ノ注意事項ヲ左ニ掲ケテ摘筆スルヲト爲ス

補遺

砲兵陣地偵察略圖記載ノ注意

一 放列ノ位置(要スレハ數箇所)

二 中隊段列及聯隊段列ノ位置

此位置ハ彈藥補充ノ爲一道ナレハ車輛ノ行違ヲ爲シ得ル路幅ナルカ或ハ往路ト返路ト各別ナルヲ要ス

三 陣地進入ニ方リ取ルヘキ道路

隊標ト同色ニテ示シ又執ルヘキ隊形歩度ヲ記ス但シ備考トスル
モ可

四、主要ナル射撃スヘキ地點及射界(隊標ト同色ノ線ヲ以テ示ス)
五、前進及退却ニ就テノ考察(備考ニ記ス)

敵前ニ於ケル渡河及架橋ノ爲ノ配備略圖記載ノ注意

一、友岸ニ砲兵ノ配備

對岸ニ十字火ヲ施シ得ル如ク通常全砲兵ヲ展開ス

二、對岸ニ架橋掩護隊ノ配備前哨配布及防禦配備略圖記載ノ注意參看

三、架橋材料ノ置場

四、架橋掩護隊渡河點(架橋點以外ニ撰フヲ要ス)及渡河法傍ニ渡河ニ要スル時間及使用ス

ナル船數ヲ記ス

五、架橋點

六、騎兵ノ使用法圖示若ハ註記

七、豫備隊ノ開進地及其隊形

八、指揮官ノ位置

九、渡河點ニ到ル迄ノ道路及渡河後ノ道路ノ景況要スレハ修理法及所要人員時間ノ計算

攻撃配備略圖記載ノ注意

一、隱蔽シテ敵ニ近接シ得ル道路及隊形(隊標ト同色ニテ示サル、モ可ナルコトアリ)

二、前衛歩兵ノ占領地及展開法(要スレハ隊標ト同色ニテ展開路ヲ示ス)

三、騎兵ノ用法(圖上ニ示シ難キ片ハ備考ニ記ス)

四、本隊ノ開進地及之ニ到ル道路(隊標ト同色ニテ示ス)

五、歩兵主力ノ展開

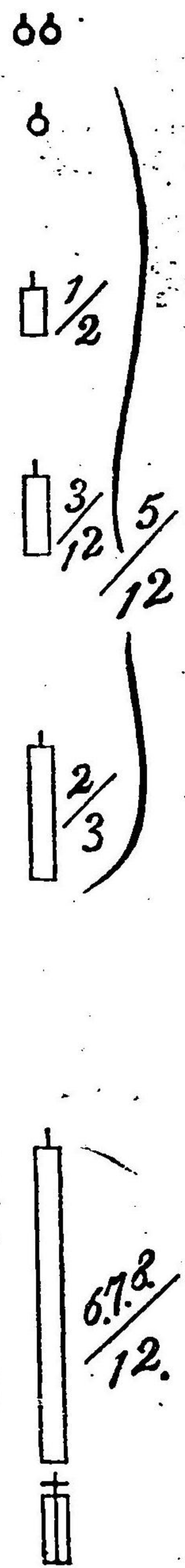
- 六、總豫備隊ノ位置
- 七、攻撃方向
- 八、砲兵陣地及之ニ到ル道路並ニ中隊段列、聯隊段列ノ位置
- 九、衛生隊、野戰病院ノ開設若ハ開設準備ノ位置
- 十、指揮官ノ位置
- 十一、敵ノ砲兵陣地ノ想像位置並ニ步兵線ノ想像位置
- 十二、大行李輜重ノ位置(備考ニ記スルモ可)
- 十三、備考ニハ我前進ニ方リ障碍トナルヘキ河川、水田、森林等通過ノ考案ヲ記スルヲ要スルコトアリ

行軍略圖記載ノ注意

- 一、所望ノ各隊ノ長徑及距離ヲ略圖ト同梯尺ニテ記ス
- 二、指揮官ノ位置

三、砲兵隊ハ野戰隊ト中隊段列トヲ區分シテ記入ス步兵隊モ通常小行李ヲ區別ス

四、步兵ノ中隊及大隊ハ左ノ如ク記シテ簡明ナルヲ要ス



五、前衛歩兵ノ先頭ト齋頭若ハ其以下ニ有リテ側方ニ出シタル斥候ノ位置但シ前衛騎兵モ現ハシ得レハ最モ良シ

六、獨立騎兵ノ位置ハ通常備考ニ行進方向及搜索方向ヲ註記ス

七、大行李及輜重ノ位置ハ通常圖示スルモノナレトモ備考ニ記スルモ可ナルコトアリ

露營略圖記載ノ注意

一、各隊ノ露營區域

- 二、外衛兵及特ニ要スル内衛兵ノ位置並ニ特ニ搜索ノ方向
- 三、各隊ニ配當スル飲水場及飲馬場
- 四、施スヘキ工事

修理及開設地點ハ其傍ニ所要人員、時間ヲ註記ス

五、指揮官ノ位置成ルヘク家屋内

六、露營需用品調達法備考ニ記ス

露營ニ於テ各官ノ下スヘキ命令及處置ニ關スル項目ノ大

要

其一 高級指揮官

高級指揮官一地ニ露營スルニ決セハ各隊ノ命令受領者ヲ招致シ宿營命令ヲ下シ且露營日直將校ヲ出スヘキ部隊ヲ示ス

其二 露營司令官

- (一)露營司令官ハ所要アレハ同地ニ露營スル隊長及司令官ニ露營ノ設備ヲ任スヘシ而シテ其直接ノ設備ニ任スル將校下士(騎兵隊ハ通常聯隊副官、歩砲、工兵隊ハ通常大隊副官、獨立部隊ニ在テハ下士)ヲ露營日直將校ト共ニ某地點(通常露營地ノ中央)ニ至ルヘキヲ命ス(多クノ場合ニハ一將校ヲシテ同一地ニ露營スル各隊ノ設備ニ任スル者ヲ指揮セシメ露營地ノ後方指定ノ地ニ至ルヲ命ス)
- (二)次ニ露營司令官ハ副官ヲ伴ヒ先行シテ露營地ヲ巡視シ戰術上ノ要旨ト給養上ノ顧慮トヲ以テ露營地ヲ撰定ス其法左ノ如シ
 - 一、各司令部或ハ本部ハ勤務ノ爲成ルヘク家屋内或ハ掩蔽下ニ在ラシム
 - 二、步騎砲、工兵隊其他諸隊ノ露營區成ルヘク束藁或ハ紙片等ヲ以テ標示スルヲ可トス
 - 三、露營特別ノ規定即チ飲水飲馬場ヲ揭示シ或ハ時間ニ依テ之ヲ

各隊ニ賦ツ

(三)次ニ露營司令官ハ露營設備ノ將校下士及露營日直將校下士ヲ集メテ命令及訓令ヲ下ス其項目左ノ如シ

一、露營設備ノ將校ニ各露營區ノ配當(實地ニ就テ標示ス)及露營特別ノ規定ヲ示ス

二、特ニ要スル内衛兵其三ノ(二)ヲ一項ニ細説ス(及外衛兵ヲ出スヘキ部隊其人員配置ノ場所及特ニ警戒スヘキ件(若シ直ニ人員ヲ決定スルヲ能ハザレハ日直將校偵察ノ上命令ヲ追加ス)

三、警報ニ方リ特ニ守備スヘキ地點及之ヲ出スヘキ部隊

四、施スヘキ工事(飲馬場ノ修理、露營ノ閉塞法及道路殊ニ各露營地交通ニ要スル道路開設修理等)

五、露營ノ需用品(廠舎、炊事ニ用フル木材、藁、薪等)ノ調達法及其地區

六、巡察將校ノ數及巡察ニ關スル事項

七、露營司令官ノ位置

其三 露營日直將校

(一)露營日直將校ハ其任命ヲ承クレハ直ニ地點ヲ示シ部隊日直將校下士及巡察將校ノ集合點ヲ通知ス其地點ハ概テ露營司令官ノ指示セル地點ヲ良トス

(二)露營日直將校ハ部隊日直將校下士及巡察將校ヲ集メテ命令及訓令ヲ與フ其項目概テ左ノ如シ

一、露營内ニ於テ特ニ要スル警戒法、各司令部或ハ本部、囚虜、罰人、飲水、飲馬場等ノ衛兵ハ一ツノ風紀衛兵ニ專屬スルカ或ハ時々一部隊ヲ出スカノ指定、外衛兵ヲ出スヘキ部隊其人員場所並ニ時刻

二、警報ニ當リ特ニ守備スヘキ地點及之ニ任スル隊ヲ出スヘキ部隊

三、施スヘキ工事(飲馬場ノ修理、露營閉塞法及道路ノ開設、修理等)

四、巡察將校ノ巡察回数、場所及時刻等

五、特ニ注意スヘキ件及露營司令官ヨリ承ケタル命令及訓令中ノ主要ナル件

六、露營司令官及日直將校ノ位置

(三)露營日直將校ノ處置

一、右ノ命令ヲ下シタル後露營外衛兵ノ位置ニ到リ哨兵ヲ配布シ之ニ守則ヲ與ヘ晝夜監視ノ度ヲ規定ス

二、特ニ要スル内衛兵ノ配布及其守則ノ授與(其三ノ(二)ノ一項ニ示ス露營内ノ衛兵ノ一)

三、以上ノ二項ハ部隊日直將校ヲ補助トシテ施行スルヲ有利トス

其四、部隊日直將校下士

部隊日直將校下士ハ露營日直將校ノ命令及訓令ヲ其隊長ニ申報シ

且所屬隊長ノ命令ヲ以テ風紀衛兵ヲ配置シ之ニ守則ヲ與ヘ露營内ノ警戒靜肅及風紀ニ付テ所屬隊長及露營日直將校ヲ補佐シ露營司令官ノ命令ヲ實行ス

注意 外衛兵ヲ出スルニ付テハ舍營ニ同シ又風紀衛兵ハ歩工兵ハ大隊、騎兵ハ聯隊、砲兵ハ中隊ヨリ出ス
若シ時間ニ餘裕ナキカ或ハ小部隊ニ在リテハ以上ノ處置ヲ取捨スルモノトス

下篇 畢

明治三十九年十二月五日印刷
明治三十九年十二月十日發行

著 者

外 山 生

發 行 者

高 橋 慶 藏

印 刷 者

熊 田 敏

印 刷 所

熊 田 活 版 所

發 賣 所

武 揚 堂

東京市日本橋區通三丁目

振替貯金口座第四六四壹番

東京市四ツ谷區市ヶ谷片町三十二番地

東京市神田區錦町三丁目二十五番地

東京市神田區錦町三丁目二十五番地

318
2
104

謹告

改正陸軍成規類典 全三冊

○紙數貳千余頁 ○六号活字菊半裁形 ○鳩目紐綴携帶繙讀共三至便

- 大日本帝國憲法
- 第一類 官制
- 第二類 兵制
- 第三類 文書
- 第四類 教育
- 第五類 兵籍
- 第六類 儀禮
- 第七類 兵器
- 皇室典範
- 官規
- 召募
- 召集
- 檢閱
- 演習
- 報告
- 名簿
- 服制
- 徽章
- 會計
- 經理
- 刑罰
- 勳章
- 衛生
- 補給
- 馬政
- 雜政
- 第十二類
- 第九類
- 第十類
- 第十一類
- 下卷目次
- 附錄
- 全國鐵道哩程表
- 陸軍表規程附屬樣式
- 其他數十件

本書ノ改廢及新ニ發布ノ陸軍諸法規ハ追録ヲ以テ補フ故ニ永遠完全ナリ

每月一回十五日發行

改正陸軍成規類典追録

購讀者ハ本書訂正ノ勞ナクシテ毎月最新ノ法規ニ據リ執務スルノ便宜ヲ得差換最モ簡便ナリ

(既ニ本書御講求ノ方ハ第何版後(又ハ何号以下)ト御明記ヲ乞)

發行所

陸地測量部地圖發賣
兵用圖書出版雜貨業

武揚堂

振替貯金口座第四六四壹番

定價(郵稅共)金拾五錢
六冊前金八拾錢
十二冊前金壹圓五拾錢

東京市日本橋區通三丁目七番地

